京城日報

八月二十三日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇我軍敵撃退

陸軍省公報＝烏蘇里方面の敵は十八日夜迄我右翼方面攻撃續行せしも撃退されたり（東京特電）

◇進出敵軍敗退

陸軍省公表＝ハンカ湖南岸に上陸せし敵軍の一部はグロデコウオ北方に進出せしも撃退さる（東京特電）

◇モウリヤ敵數三千

敵軍大部隊の移動歸國

陸軍省公表＝曩にセミヨノフ枝隊を撃退せし敵數は一萬餘なりしが其の後大部は移動し又之れに加擔せる者も郷里に還り昨今モウリヤ附近にある敵は約二三千なり（東京特電）

△附記 以上三項は二十一日朝の著信に係るものなるが當時掲載禁止中に屬し其の儘となし居りしが本日解禁の命に接したるを以て爰に掲載す

◇伊軍浦鹽派遣

伊太利は支那駐在兵を浦鹽に派遣に決定せり（東京特電）

◇派遣支那兵通過

二十…朝來○せし○○派遣支那兵將校○○○名下士卒○○○○○名及び機關砲○門、馬匹○○○の一隊は○○○日朝○○驛を經て○○に向へり（○○特電）

◇軍用金票發行

長春より以北にて使用すべき軍用金票既に發行され長春市内にて流用され居れり（○○特電）

◇西伯利出征 英司令官

横濱到著

西伯利亞出征英軍司令官陸軍中將ダフソーヂー、ノックス氏は參謀從卒を隨へ二十二日横濱に著せり將軍は開戰以來北佛地方に作戰を奏し南亞戰爭にも驍名を馳せ近衞聯隊第六師團長たりし勇將なり（東京特電）

◇上院各派交涉會

米問題に關し政府に警告

二十日貴族院各派交涉會開會の結果米價調節及び米騷動等に關し政府に警告を發することに決定せり（東京特電）

◇憲政北海遊說

憲政會にては來月七日より北海道に大遊說をなすべく加藤總裁尾崎總務等も出席すべしと（東京特電）

◇稻作良好

農商務省にては去る十五日全國稻作豫想概況を發表せるが右に依れば山口縣の平年作に比し不良なる外全國皆良好なりと（東京特電）

◇東京定期米値段

東京定期米は二十二日二十七圓九十九錢に寄付き二十八圓四十七錢の高値を出し結局二十八圓二十錢に下落し正米も小締にて氣配高の見込なり（東京特電）

◇繰業短縮据置

紡績繰業短縮は据置く事に紡績聯合會にて決行せり（大阪特電）

◇兩船大連復航

大阪商船紫義丸は二十九日より臺中丸は來月二十日より大連航路に復すべしと（大阪特電）

◎又講和提議か

一顧に値せず

桑港電報は獨墺兩帝會見の結果は白耳義撤退を含む條件を以て聯合國に對し講和を提議することに決定せりと傳へらる兩皇帝は先日來

▲獨逸大本營 に於て政治上及び軍事上の重要會議を開きつゝあり今春以來西部戰線に於ける大勝の報道に有利なる講和を夢想しつゝありし國民は最近の大敗北に依りて其迷夢より覺醒すると共に將來に於ける戰勝の絕望に想到して茲に軍閥に對する怨嗟の聲となり殊に墺國は獨逸に追從して益々窮境に陷りつゝあれば獨逸に對する反感一層甚だしく兩皇帝の會見に於ては定めし幾多協議上の難點に逢着したるなるべしと思はる而して獨逸に於ては自由及び祖國擁護國民協會なる新團體漸次有力となり個人の自由を束縛し祖國を獨裁政治の下に置ける軍閥に反抗して他、遂個人の自由及び祖國の擁護の爲め奮勵するを主義とし强制的領土併合を排して合意的領土併合を主張し戰後に於ては仲裁々判を設置して恒久の平和關係を樹立せんことを理想とし激烈なる論說を連りに獨逸の各新聞に發表しつゝあり從つて獨逸政府に於ては斯る輿論に從ひ且刻下の窮境より脫出するが爲め講和の提議をなすの外なく從來とても中立國を通じ聯合國に對して種々暗中模索を試みつゝありし次第なれば兩帝會見の結果講和提議を試むべきことは豫想し得べき所なれども電文の如く單に

▲白耳義撤退 を明示したるのみにて他の條件を現はさゞる所を見ればアルサス、ローレン問題、トレンチノ問題、巴爾幹問題、殖民地問題、償金問題に關する諸點は比較的讓步の意なきものと見るべきか若し單に白耳義問題のみ讓步するものとせば同國に對する有らゆる要求を全然放棄し損害賠償に應ずるに決定したりとするも聯合國に取りては一顧の價値なしと云はざるべからず要するに電文不可解の點多し後報を俟たざれば明かなる判斷をなす能はざれども或はこれに依りて聯合國に對するよりも寧ろ白耳義と單獨講和をなすが爲め同國の意嚮を探りたるものにあらざるかとも思はるゝ某外交通は觀測せり

◎露國民の歡喜

日本兵を神の如く敬ふ

西伯利亞に於て活動し邦家のため盡しつゝある横田茂氏はイルクツク監獄を脫出せるアンナ夫人を伴ひ二十日朝通過郷里會津に向へり氏はアンナ夫人入獄事情及破獄當時のことを詳細に語りそれより時局問題に移り縷々詳說せり

▲日本出兵は露國人に好感を與へたるは無論なるも同時に過激派の感情を害したることも甚だしく彼れ等過激派は最近八月十日滿洲里ザバイカルの間のマツエスキに於て日本軍と決戰すべきや否やにつき會議を開きたる事ありその會議の結果は如何になりしや不明なるも彼等は獨墺俘虜を後楯とし我軍と一戰を交ゆべき決心あるは動かすことを得ず已に彈藥の補充を獨逸に依頼せりと聞けり

▲獨墺俘虜の數は驚くべき多數にて過激派を巧に使嗾しつゝあり行政司法權まで總て獨逸將校占居る有樣にて過激派の實權は獨墺俘虜にありと云ふも過言に非ず而して此の獨墺將校は口を極めて日獨同盟を說きその聲を大にしつゝあるは奇こいふべく彼等は日獨同盟成れば世界の盟主たり得べしとて日本軍と戰ふを避け努めて英佛軍に對し戰ひを挑む傾きありイルクツク獄に於ても日本人に對しては決して殺伐等の暴行をなすべからずと命じ日本の反感を買ふことは凡て差控へ氣味なるは何等かの考へあるものと思はる

▲日本騎兵隊の先頭は十七日哈爾賓著歡迎を受け露國民は熱狂して之を迎へたり藤井中將の率ゆる部隊とは長春に於て會せるが已に前進せるものと思はる、予が哈爾賓出發當時日本軍隊歡迎に關する布達せられたり露國民は日本兵を神の如く敬ひ露國を救ふは日本なりと信じ日本に期待する所大なるが之と同時に

▲日本に勃發せる米騷動が日本の革命として傳へられ居るは遺憾なり我々在留同胞もこの騷ぎを大なる社會問題とし大いに憂慮し居り露國の革命は麵麭に始まり麵麭に終りつゝあるは刻下の形勢よく之を示しつゝあり過激派も遂に麵麭にて往生すべきは疑ひを容れず、今日露國は麵麭に缺乏しその結果爲夢に萎麥粉を交ぜ居るなど甚だしく困窮狀態にあり日本の米騷は內地より寧ろ海外において誇大に傳へられ在外同胞にも不安の念を起さしめつゝあるは遺憾千萬なり

本紙定價 壹ヶ月七拾五錢▲參ヶ月貳圓…▲六ヶ月…▲壹ヶ年…（郵税共）
廣告料金 五號十五字詰一行…
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 …

◎鮮銀總裁演說（三）

＝於株主總會＝

▼國庫事務 當季初より從來滿洲に於て横濱正金銀行の取扱に係る大連本金庫及同金庫所屬の支金庫並派出所の事務の移管を受くるに至りしことは前既に之を報告したる所にして今や當行は鮮滿兩地に亘り國庫事務を取扱ふこととなれり而して當季間に於ける京城本金庫の受入總額は壹億六千七百九萬八千貳百九十九圓拂出金總額は壹億七千五十貳萬貳千百九十七圓にして此內內地との間に於ける回金額は受入金額貳百九十參萬七千九百四十四圓を示し其對市場受拂は貳千五百參十六萬四千貳十六圓の受入超過となれり次に大連本金庫に於ける當季間の受拂を示せば受入總額貳千貳百五十壹圓拂出總額貳千百十七萬六千百八十八萬八千六百四拾圓內同金受入六千貳百圓同拂出參百六拾九萬貳千百六拾五圓にして其對市場受入超過額は參百九拾七萬參千七百七拾六圓なり

▼產金收入業務 當季間に於ける朝鮮の採金業は前季と同樣の狀態にて主として爆藥、藥品其他諸材料高に因る採鑛並精鍊の不引合なるより自ら減退の傾きあるを免れずされば當行の本業務も其影響を蒙り之が收入甚だ少く加ふるに滿洲產金の買入も銀相場高に制せられて意の如くならざりしかば當季の取入高は著しく減少し從て當行より造幣局に輸納したる純金量は四百四十六貫四十四匁九分其成貨額は二百二十三萬二百二十四圓五十錢にして之を前年同季に比すれば殆ど半減に近き狀態となれるは甚だ遺憾とする所なれども蓋し已を得ざるなり

要之當行は前期の如き經濟界膨脹の狀勢に鑑み先づ內部資金の充實を圖るの必要を認め二月及五月の兩回に亙り未拂込資本金五百萬圓の拂込を行ひ三月保證準備發行限度擴張の特典を附與せられ以て業務經營上の施設を整備し朝鮮及滿洲に於ける金融の調節並產業の興起を策し尙一層海外金融機關としての活動を續け內外金融界の變動消長に應じて愼重の態度を持し各種業務の發展上遺算なからむことを期せり從て當季の營業成績は引續き好成績を收め其純益金百三十五萬七千六百八十五圓八十錢を算し前季に比し三十五萬八千五百六十二圓十二錢の增加を見たるは株主各位と共に欣幸とする所なり（完）

◇極東戰局將來

兩軍作戰批判

△作戰關係 チエック諸軍と過激派軍の作戰關係は兵力分布及び地理上の關係よりチエ軍は外線（包圍の地位）に立ち過激派軍は內線に立ち從つて過激軍の行動は攻防共に作戰上の連絡自由にしてチエ軍が沿海州より前進し來るも滿洲里方面より進出し來るも貝加爾湖南岸より東進を始むるとするも之に應ずる事極めて容易にして且つ兵力を必要に應じて彼此轉用し得る事其意圖の如くなるを得べし之に反しチエ軍は極東のみに於ても三部面に分かれ其連絡亦不自由なるを以て過激派軍を攻擊するに當り各方面の步調を整へて行動する事極めて必要なり然るに現在に於ては此三方面共に密接なる連繫を缺き特に北滿方面よりするチエ軍の態度今のところ不明なるを以て動もすればチエ軍の孤立無援なる出擊を見んとする狀況なるを以て斯くの如く外線に立てるもの、連繫不充分なるは適々內線のものに好餌を與ふるに等し若しチエ軍諸隊にして三方面共に充分なる連絡を保ち同時に進擊を開始せば內線に在る敵をして應報に遑なからしめ全く甕中のものたらしむるを得べし

△進軍退却 『進軍容易に似たり』とは兵家の頻りに唱ふる所なるがチエ軍刻下の形勢も亦實に此例に洩れず即ち西伯利及び歐露にチエ軍救援を目的とし浦鹽より開始せるチエ軍が過激派軍と會戰し逐次之を擊退して進軍するものとせば浦鹽を離るゝ事多ければ多き程後方連絡及び守備の爲めに多數の兵力を吸收せられ假りに當初に於て過激派軍より優勢なる兵力を有したりとするも進軍進捗するに伴ひ遂に敵の兵力に及ばざるに至り攻守地を更へ敵の反擊を受くるに至るべし此關係は滿洲里より西進せんとするチエ軍に取りても同樣にしてチエ軍單獨にてチタ方面に進軍するは頗る困難なりと謂はざるべからず是れチエ軍が聯合軍の活動を後貝加爾州にも及ぼさんことを翹望せる所以なり

△地形判斷 極東三州の地理的關係を見るに過激派及び獨墺俘虜軍の最も作戰上苦痛とするはカルイムスカヤ及びチタがチエ軍の手中に歸することにして一朝此地及び其附近を占領せらるゝ時は沿海州及び黑龍州の過激派軍は此に頭尾を斷たれ假令餘喘を保ち得たりとするもチエ軍の西進を防止する能はず從つて中西兩部チエ軍の連絡を完全にせしめ救援の目的を達成せしむることとなり作戰は過激派瓦解せざるべければ故に全力を傾注して滿洲里附近より國境附近に至るチエ軍に對し滿洲里チタ間約百十里の間に於て根本的に大打擊を與へんと計畫せるが如く目下チタ市には兵器彈藥製造所を新設し彈藥の補充に腐心しつゝありと

◎總督大機奉伺

天皇皇后兩陛下には二十一日午前日光田母澤御用邸より還幸啓遊ばされたるに付き長谷川總督は廿三日午前波多野宮相を訪ひ天機並に御機嫌奉伺方發電したり而して山縣政務總監も同樣天機並に御機嫌奉伺方を發電したり

◎兩殿下奉伺（傳奏）

天皇皇后兩陛下には廿一日日光より還幸啓あらせられたるに付き李王殿下並に王世子殿下には二十三日閔長官をして總督府に長谷川總督を訪問せしめ天機奉伺並に御機嫌奉伺ひの傳奏を依頼せり

◎總督總監列席

長谷川總督並に山縣政務總監は二十三日午後零時半昌德宮に於て李王殿下の御催しに係る各新任武官招待午餐會に列席せり

◎西伯利興業會社

西伯利方面に於ける企業放資を目的とし資本金三千萬圓見當の西伯利興業會社設立の議東京に於て進行中の由なるが過般中日實業の（…）知鐵吉氏を中心として該地方に於ける諸國資本家により提唱せられたるものにして同地方發展の機關とし種々企業を試みんとするものなるべくことに對し朝鮮銀行東拓正金銀行滿鐵等に對し後援資助を求め來りしもの、由にて目下協議中なりと

◎鮮銀增資申請

朝鮮銀行にては二十日の株主總會にて二千萬圓の現資本金を四千萬圓に倍加する事を可決したるに付銀行にては右の結果二十一日直ちに增資認可の申請を總督府に提出したるが右認可の指令の遲速により三萬株の公募時期を決定するに至るべく諸手續の關係上多分九月末若くば十月上旬とならん

◎電燈値上と當局

遞信局電氣課長 岡本桂次郎氏談

京城電氣會社にて遞信局に申請したる京城市中の電燈料値上は監督官廳にて審議の結果

▲値上不許可 の指令を與ふる事に內定せしを以て電氣會社には前提値上案の撤回を求め結局既報の如く京城の電燈料は本社の力說せし如く當分据置に決定したるが電燈料問題に關する遞信局の意向に付岡本電氣課長は曰く電力の如き生產的のものは姑く措き電燈はその事業の性質公共的のものであつて吾人の生活上必需品となつてゐる從つてその燈料値上を必要とする如き事情乃ち經費の增大を來す場合に立至つた時その增加經費の全部を需要者のみに轉嫁するのは誤りと云はねばならぬ宜しく斯かる場合に於ては

▲需要家 に於て半ばを負擔し會社にてその半額を引受くるを至當とするのである、更に利益が大に擧つた時もその增益の全部を株主のみに分配するといふのは穩當でなく需要家にも燈料の引下をやつて配分の途に出るのが當然である、此見地から京城電氣會社の電燈料値上問題を如何に見るかと云ふに大體に於て會社は石炭その他の材料高並に勞銀の騰貴による經費の增嵩を會社と需要者の間に折半して負擔せりと云ふもその內容を檢すれば京城の電燈瓦斯も馬山仁川鎭海の電燈も總てを一丸とした計算であつて此探算法は根本に於て大なる誤りがある乃ち

▲馬山や鎭海 に於ける京城電氣の電燈經營に損をするからと申して京城の電燈需要者が馬鎭方面の損失を負擔すると云ふやうな事は大變な間違ひである、乃ち京城は京城、馬山は馬山でその收支狀態を見ねば正當でないそこで京城の電燈經營はどうかと申すに京城では需要の燈數も多いし稅金減免等の特權もあり事業の成績は十分に擧つてゐる、而してその料金は內地に比しても高いのである從つて現行の料金で進んで行つても會社の現配當率を著るしく減ずるといふやうな事にはならないと確信する、これ當局が

▲京城電燈 の値上を許可せぬ理由である、唯鎭海仁川馬山の三地は燈數も少いし成績亦必ずしも良好でないから一割內外の値上を許可した譯である、尙全鮮の電氣會社は京電經營の京仁馬鎭四地木浦新義州清州三地の外何れも正式には料金値上の申請をして來ない

◎殖銀頭取問題

朝鮮殖產銀行頭取に就任すべく內定し居る鮮銀理事三島太郎氏が一身上の都合上就任不可能となりしと府內地某新聞に傳へ居れるが聞く所によれば右は氏が殖銀開業期の切迫せる今日悠々病後を內地に靜養し居るより生じたる臆說なるべく今後同氏の健康にして著るしく可ならざるか若くは重大なる事情の發生せざる限り同氏の殖銀頭取は動かざる所なりと

◎仁川電燈料値上如何

果して實施するか

仁川に於ける京城電氣會社の電燈料金は去る十七日附一割乃ち十燭に付十錢引上の許可を當局より得たるを以て會社は九月新料率により料金の引上げを行ふもの、如きが聞く所によれば仁川に於ける電燈は十燭換算約一萬一千燈に付その値上による會社の增收は半期六千圓弱に過ぎず之れを五十萬圓以上の收入ある會社より見れば必ずしも纏まりたる收益と云ふべからず加ふるに仁川に於ける京城電氣會社の電燈經營成績は馬山鎭海の如き地方と異なり現行の料金にて尙ほ收支狀態良好なるもの、如く更に隣接せる京城に於て電燈料の値上行はれざるに仁川に此事あるは仁川需要家の默過し難き點たるべく會社にて値上實行を斷行せば必然一問題の惹起は免れざらん會社が果して如何なる態度に出づべきかは注目に値すと某有力者は語れり

◎鮮米買付頻々

下關商議々員等來釜

二十日午前九時下關商業會議所議員小島幸助前田金藏兩氏下關市長の依頼狀を携へて釜山に來り釜山商業會議所會頭大池忠助氏を訪問し救濟米として鮮米十萬石丈け買付の希望を述べ之れが便宜取計ひ方を依頼する所ありたるが以上の外續々として買付註文殺到するの有樣なるより大池會頭は二十日午後五時評議員を招集し該問題に關し協議を重ね結果二十一日の市場相場を以て右下關よりの註文に對し白米二千石を府內精米業者十一軒にて引受くる事となりたりと

東師小草（二） 今關 天彭

訪桂湖郷

左陳周鼎右商彝。名畫法書從手披。休怪先生但耽古。要將古道振今時。

座間賦贈木堂翁

白髮文章愛國餘。君恩未許老郷閭。書觀心畫詩觀性。杜老詩篇正學書。

乃者湯淺武孫翁贈以五律大幅故云

醉後寄稻葉君山

十年游說飯公間。朝向燕山暮楚山。一片雄心何處寄。等身著述好消閒。

人事消息

▲山中定次郎氏（山中商會主） 二十三日朝入京巴城館へ

▲牧山代議士 廿二日小樽發樺太に向ふ

茶前酒後

◆英國藏相ボナーロー君は、簡易生活、個人生活及び產業上の、諸費用を、最少限度迄切り詰めよ。而して其切り詰し額を以て、公債に應ぜよと、半ば依頼的に、半ば命令的に、英國民に向つて訴へたり。

◆而も此の依頼的兼命令的なるものは更に細節に入れり。曰く、國內の準備金は、之を最少限度に止め、成可く公債應募に充てよ。曰く、貯蓄は勉めて公債に振り當てよ。商業者は事業の爲めに、資金を投ぜず、別に公債募集資金に充てよと說けり。之では何も出來ざる也。

◆然るに英國民に、此の言に對して、何等の非難、批評もなく、先般は立派に、百億圓の公債應募成績を擧げ居れり。之は即ち英國民が、平素の訓練を積みし結果にして、たしかに英國民の偉さに因ずんば非ず

◆試みに日本にて、斯る命令染たるものを、政府が發表したりとせよ。必ずや紛々たる物議を惹起し、餘計なお節介なりと、非難百出、遂には政府攻擊にも及ぶべし。

◆他人の饑餓を他所に見て、聞くや、尙ほ餘裕を明知しながらも、小僧女中に至る迄も、繰り出し、吾先にと廢米買占をも、遣り、尙ほ止めぬ金持や、成金の徒や、反省だに敢てせぬ、騷動の漸く治まる屆する日本にては、斯る事は爲し遂げ思ひ及ぶべくも非ず。

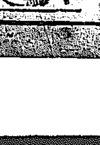
◆觸く觀じ來らば、日本の民權も下手に發達せしものにて、官民の一致なきは口先丈けの事と云はれても、先づ異論を唱ふるに躊躇せざるを得ず。要は、國民平素の訓練にあり。英國民たりとも其平素に賴る處なくんば、焉ぞ能く此の美事を爲てせんや。吾人の禮ふ處は、實に茲に存す。

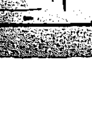
◆金を欲する者よ、權威も黃金の前に屈伏せしめ、威力も黃金の前に破壞すべしと思ふ儘なる者よ。我慾の爲に、其手段を選ばざる者よ、其處に二億の巨財を擁して、行跡を忍びつゝ、不安の日を送りつゝある者の老軀尙ほ置き處なく、不安は生活上の不安よりも、より大なるあるを見ざるや。彼の女の不安は世の金權家以て奈何となすべし。彼の女とは即ち鈴木商店主、同商よね子也。

恐るべき黴菌 怖るべき汚水
家宮內省御買上之榮
本邦唯一の特許石濾式
各博覧會有功賞受領
內務省衛生試驗所 及五博士實驗證明

除菌水コシ
無比良水

▼最新理化學上の一大發明として各會社工場醸造家製糸家學校病院飲料水製造家官衙旅館料理店は本器に依り安全に利益を計られよ
▼非水河水使用の家庭及旅行家は本器に依り一家の衛生と安全を計られよ
■大型一時間拾石コシ 一個金六拾圓也
■中型一時間八斗コシ 一個金九圓五拾錢
■中型一時間一斗コシ 一個金四圓五拾錢
■旅行用一時間三升コシ 一個金三圓八拾錢
▼期は今速刻申込まれたし 會長板垣伯夫人 顧問大隈侯爵 日本除菌濾過器製造所製造
●此新聞名を附記して申込れよ說明書送る

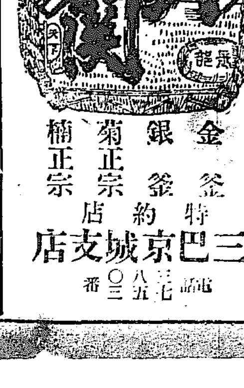




發賣元 田中濾器商會
東京市京橋區南金六町拾五番地 電話新橋三三五五番

冬帽子
東京製帽子卸專門
新形冬物全部荷揃
多少に不拘御引立の程願上候
本店 東京市日本橋區馬喰町四丁目 山脇製帽所
京城府淡江通八番地電話一二三番 近江屋山脇

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 成商業學校講師 西村眞太郎著
日鮮會話精通
袖珍總クロース頒美本 七百餘頁 定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して愛讀あらむ事を祈る
發行 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部
取次 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 巖松堂

銘酒

金釜 銀釜 菊正宗 楠正宗
特約店 三巴京城支店 電話 八五七 三〇三番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一一〇一番 電話 三三一 一六一 七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彥

大正七年七月一日改正現行

[illegible]	[illegible]

◎畏き大御心

井上東京府知事を召され 都下の狀況を聽召さる

次いで廉賣に就しつゝある外米及び鮮米を差出せと御沙汰あり

天皇陛下には廿一日還幸後間もなく井上東京府知事を召され侍從長をして輦轂下庶民の狀態善後策等を聽取せしめられたるが尚目下廉賣中の朝鮮米外國米の實物を差出すべき旨侍從長を通じて御沙汰あり井上知事は恐懼して退出せりと(東京特電)

◎過激派の手から免れた 横田アンナ夫人語る

妾は斯して獄舍を脫けました

戀しい日本に始めて來て歡喜嬉しいことはない滿面に笑を湛へ乍ら

イルクツクの獄舍を脫出し命且夕に迫れる入獄者を救助したる横田氏夫人アンナはその後哈爾賓に滯在しゐたるが十七日横田氏に連れられ二十日朝哈爾賓通過横田氏の郷里會津に向へり、アンナ夫人は幾分面窶れせるも利かぬ氣象は自づと眉宇の間に讀す快く語つて曰く

◇軍事探偵 といふ名で過激派の手に捕へられイルクツクの獄舍に投ぜられましたが同監獄には三百餘人の入獄者あり中重罪犯として獨房に入れられてゐたもの七十六名死刑囚三十人、夫は大した人數でこのうち女三人、日本人は阿部、上納、村岡、南の四氏でありました、私が入獄した時から何うかして獄を脫れ早く皆を救つて上たいと夫のみ思つてゐましたが氣が焦る許りでいゝ工面もつかず日一日と物思ひに暮し二個月を獄中に過ごしました、六月十二日愈々死刑を執行するといふ危急の場合私は豫て買收してゐた獄吏を總使とし

◇白衞軍に 急を報じ時を移さず救助せよと依頼しました、六月十三日夜から十四日朝にかけ白衞軍はイルクツク獄舍を攻擊しその騷ぎに紛れ私は日頃の思ひを遂げ脫出することが出來ました、天の助けと云ふか神の惠みと申しますか私は獄を脫ると、こゝが出來たのです、夫からチタに逃れ久し振に夫に會ひましたが非[illegible]私は重大犯人として取扱はれ追手がつき纏つてゐるので安閑として居られずチタから百姓に化過激派の目を旨く晦ましウスリー線により漸と二個月掛で哈爾賓に着きましたがその旅行の困難苦痛は一通ではありませんでした

◇獄中生活 は隨分苦しく食物など夫は酷いもので喉に通らず之には困りましたが幸ひ私は散歩を許され外に出る機會もあり又入浴、更衣、醫師の診斷など他の囚に比し頗る寬大でした、之は私が重大犯人であるため監獄でも丁重に取扱つたのです、この取扱ひが私に取つては好い機會を與へてくれたのです、破獄當時のことは哈爾賓でも委しく申しましたからもう御存じのこと思ひます、哈爾賓滯在中は看護婦になる希望もありましたが體の疲れもありそれに一日も早く

◇日本を見 たい横田の親にも逢ひたいと斯う思つて當分日本に滯在する積りで參りました、日本は今度が始めて、眼に入るもの總じが珍らしく果物が多いのを見て何より嬉しく思ひます日本食は大好物で梅干でも澤庵でも何でも食ます、私も露國人ぢやありません、もう日本人になつてゐますと愛嬌よく語る横田氏と共に車中の人となれるが夫人は本年二十四歲、横田氏とは四年前二十歲の時結婚せりといふ

◎一戶大將は 日ならず全快

十九日信濃町停車場附近にて落馬負傷したる一戶教育總監は同日直に日本赤十字社病院に入院したるが其後の容體は良好にして傷は後頭部に擦過傷及び前頭部に負傷したるのみにて內部に及ばず入院する程の容態にあらざるも療養上の都合に依り入院したるものにして熱の模樣無く日ならずして全快すべし(東京)

◎四箇月に亘る 警備の苦心

△浦鹽から歸つた 陸戰隊長語る

今回海軍運送船にてこの程浦鹽より歸着せる海軍陸戰隊中隊長大尉須藤平三郎氏は語つて曰く『我陸戰隊は去る四月五日浦鹽に上陸し四箇月間に亘つて[illegible]に任じ陸軍の上陸と共に去る十二日任務を解かれ十九日歸艦したり

◇將卒 は自分と少隊長鈴木中尉中村上等兵曹にて下士官九十九名計百二名なり浦鹽の警備は最初四箇中隊にて中途三箇中隊となり更に二箇中隊に減じ本月に入りてよりチエツク軍出動令に接する事となれる爲日本米支の聯合防備隊組織され中島陸軍少將

◇指揮 官となり我陸戰隊は市の大半鐵道沿線五哩に亘りし地域廣く最も重要地點を受持ち時に露國の[illegible]之に從ひ貪る暇だになく晝夜兼行にて之に從ひたり始め陸戰隊の上陸するや市の多數の群集は事毎に我陸戰隊に押掛け之は俄の土地だ他國軍隊の上陸を爲すは不都合と怒號し之を退散せしむるに苦心したるが日本軍隊は自分等を

◇保護 する目的の爲に來れりとの意志徹底してより漸次好感を以て迎ふるに至れり中には不逞の徒ありて乘組○○乘二等水兵丸田新太郎が昨夜に市街地巡回中狙擊されて戰死を遂げたるが如き事あるは遺憾なり過激派は別に目標となる服裝を爲さざれば捜索上困難にて時に乘馬の來現はれ出で狙擊せる事あり我は共命部な

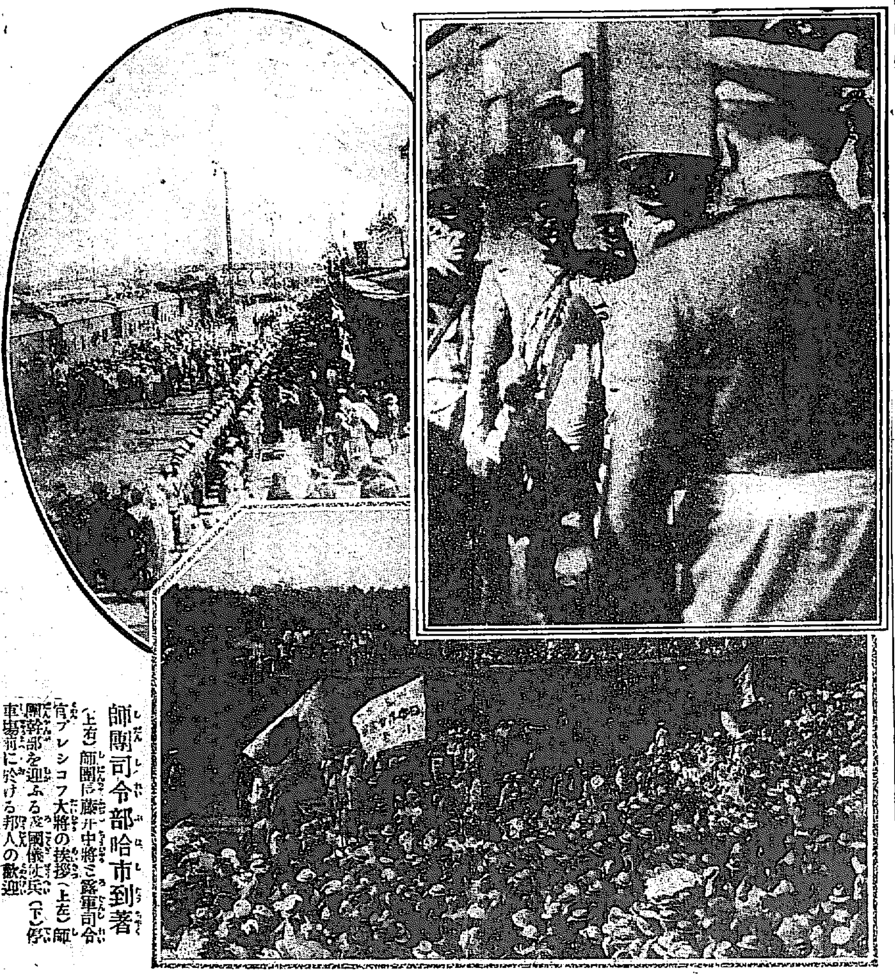
◇取扱 へ共數十四五名に上りしが拘留の上彼等警察署に引渡し穩和の處置を執りしより彼は日本軍隊を謝するに至れり(吳)

◎朝鮮銀行も二萬圓寄附

▽各地細民救濟の爲め

朝鮮銀行にては米價暴騰による各地細民救濟の主旨にて既に東京京城外五地に對し左の如く二萬九千七百圓を寄附したるが尚ほ朝鮮內支店所在地にて寄附の必要を生ずべく總額三萬圓以上に達すべしと

京城	一萬圓	東京	一萬圓
大阪	五千圓	神戶	三千圓
釜山	一千圓	仁川	五百圓
馬山	二百圓		



師團司令部哈市到著 (上右)師團長藤井中將と露軍司令官プレシコフ大將の挨拶(上左)師團長部を迎ふる各國儀仗兵(下)停車場前に於ける邦人の歡迎

◎施米と ◇……安賣り

京城救濟會に於ける二十二日の成績細民施米及び廉賣狀況を聞くに

▽施米 內地人側戶數二戶人員七人に對し米一斗、粟一斗を給し朝鮮人側に於ては戶數百三戶人員二百八十二人に對し米四石三斗一升粟四石五斗一升宛を給與せり是にて其累計內鮮人を通じて米二十石八升粟二十石八升戶數四百六十五戶人員一千二百三十七人を算せり

▽廉賣 二十二日扱ひ總石數二百四十一石一斗六升にして此の他に外國米三十石二斗八升あり右扱石高の中東拓の寄贈米は石拔四十四石一斗八升石不拔百十六石六斗計百六十石七斗八升なり

▽大口の申込 出來るか出來ぬか

京城救濟會の廉賣開始後一部會社にては其の會社員に格安米を購入頒布せん目的にて同會に對し之れが大口申込を爲したりとの說あり たるが京城救濟會にては京城府內に於ける米價騰貴により窮迫しつゝある細民救濟を目的とし篤志家の義金醵出を得て施米乃至廉賣を開始し而も賣行初日の成績に鑑み細民に對する廉賣米すら一回

▽三升を限度 とせる今日斯くの如き大口廉賣米申込を受け義金に據る一般細民救助米の分配を爲し能ふや否や甚だ疑問にして恐らく不可能の事なるべしと觀測せられつゝあり某氏の如きは本問題に關し斯の種の大口申込ある場合は假りに廉賣申込に應ずとしても夫等會社をして時價と廉賣價格との値鞘を義金として救濟會に醵出せしめば

▽何等の支障 を生ぜざるべしとの意見を抱持し居る向もあり其値鞘を義金として醵出せしむるものとせば寧ろ最初より別途購入を爲さしめ義金提供を別問題たらしむるに如かずとなすだに煩雜なる廉賣事務に無用の手數を增さしむる如きは策の得たるものとは見られざるべし

◎米騷が鎭ると 今度は炭

の買占が始まつた 何れにしても[illegible]は免れまい 木浦では既に商人に飛告 保安規則で追付ける

朝鮮でも內地でも米價暴騰の餘波尙未だ人心を燒き爛らしてる昨今秋風が颯と立ち初めたかと思ふと這度は炭價暴騰の聲に又新しい生活上の脅威を感ぜねばならない、京城では三四年前迄は一俵五十錢位で人の眼を剩かせたが一昨年の暮頃から遽に騰貴し七八十錢から

▽一圓以上 に上り本年冬期の如きはトン〳〵拍子の奔騰に味を占めた薪炭商が盛んに買附しく不安の狀態に陷つた苦い經驗があるので愈々必需期を眼の前に控へた市民は寄ると觸ると米沙汰炭沙汰である、木浦では既に薪炭商が先高を見越して結託し、買占めを行つたとかで警察署では彼等を召喚の上戒告したが、京城でも

▽眼先ハ早 い商人は地方に出張けて買占手配りをして居ると云ふ情報がある位であるから本年も炭價問題で一ごゝは免れまいと觀測されてる、內地では斯る狀勢を察して暴利取締令を炭にまで及ぼすやう各方面からの希望があるが該取締令中には炭の文字が脫けて居るので當局でも目下善後策を講究中であるとか、朝鮮では暴利取締令の發布を俟たずとも過般鎭南浦で米買占者に對して

▽保安規則 を適用した如く炭買占者に對しても之を適用するであらうから需要者側として多少心强い感じがする

◎民心の安定に努めよ

水野內相、地方長官へ訓令

騷擾は沈靜したが尚其の平穩とは言へぬ

既報の如く水野內相は二十二日附を以て地方長官に對し各地騷擾は沈靜せるも人心全く平穩に復せりと謂ふべからず穀類の配給は今後一層圓滑となるにつき無稽の流言に惑はず輕擧を愼み業務に勵精せしめ民心を安定せしむるに努むべき旨訓令を發せり(東京特電)

▽中產階級を ◇……救濟せよ 內務省の訓電

內務省にては今回細民以外各地俸給にて衣食する中產階級に對しても廉賣米の恩典に浴し得る施設を遺憾なからしむるやう努むべき旨訓電せり(東京特電)

▽騷擾公表廢止 騷擾に關する內務省公表は昨今平穩に歸せるより二十一日限り廢止するに決せり(東京特電)

▽今回の騷擾は 極めて惡性

犯人は嚴罰せん 司法次官は語る

騷擾事件に就き鈴木司法次官曰く騷擾の裏面に政治的意味ありとか社會主義者の煽動ありとか運動に脈絡系統ありと傳ふるも目下調査中にて明瞭ならず今回の騷擾は極めて惡性にて多數集團し暴行、掠奪、强姦、放火をなし社會の秩序を亂し安寧を害すること甚だし此の惡傾向增進せんか由々しき大事惹起せんも保し難し故に此の惡性のものには嚴重處罰をなし惡傾向を芟除せざるべからず地方によりては附和雷同の風習あれば此等の地方にては附和雷同者と雖も相當刑罰を加へ惡風矯正の要あり(東京特電)

◎元山の[illegible]

九日朝地鮮人米穀商より購入したる五十入白米百四十叭を自宅に運[illegible]らる[illegible]不足を認めたるより藤井に[illegible]に際したる鮮民一千戶を救助する豫定にてその調査を高陽郡華藏寺の住持金用[illegible]

◎仁川救濟會

[illegible]二十二日[illegible]

△販賣數量 仁川府町販賣所[illegible]阪商船仁川支店以上通計三萬二千五百七十一圓[illegible]升圓說申込七千麥九石九斗一升に[illegible]して日々官憲側設申込みの數量を漸加せり

◎新義州椿事 森平氏危篤 (別報)

二十三日朝八時十分新義州江岸木下製材工場に於て同工場使用の四十馬力の汽罐破裂し現場及び其附近に居合せたる職工其他即死二名重輕傷二十七名を出したるが工場主木下作助氏及び協同經營者たる森平幾松氏も其の中にあり森平氏は頭部に重傷を負ひ生命危篤なり(平壤特電)

製材[illegible]即死內地人一名支那人一名重輕傷者內地人十名支那人十一名を出せり尚死傷ある見込に付目下警察署消防組全部出動救護に努め原因其他調查中

▲死體發見 二十二日午前八時十分東萊郡西川町木、作功[illegible]

岸九郞、坂倉太三郎、塚本睦治、安部文三、河合梓三、中村庄三郎、武藤俊、金成丙、金永三、八木留治、後藤寅吉[illegible]

外人二名[illegible]

◇各地の白米

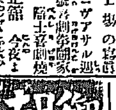
Ⅱ二十三日小賣値段(電報)Ⅱ

▲全州 一等米依然三十六錢

▲晉州 一等米三十二錢出廻り米多く氣配弱し

▲群山 一等米三十六錢變動無し

▲薄津 一等米三十九錢に騰る右は二、三日來釜山米相場騰貴の[illegible]電が影響せるものなり



▲有樂館 今二十三日夜より上場の寫眞はユニヴアサル週報[illegible]▲大正館 今夜より[illegible]▲黃金館 二十三日より[illegible]▲浪花館 [illegible]▲稻荷座 浪花節桃中軒雲太郞一行にて開演中▲壽館 浪花節芝居[illegible]一行にて開演中

◎師倉保育園へ寄附

前京城日報社長阿部充家氏は金二十圓、[illegible]社長山田五十雄氏は金五圓を元南山町會長故人飯田玄一氏遺族は金七十圓を市內三坂通師倉保育園京城支部の事業費中へ寄附せり

◎朴侯爵の救恤

侯爵朴泳孝氏は十六日崇仁洞の細民十三名に對し金一圓宛を施興せりと

◎電車の立往生

二十二日午後十時頃京城電氣株式會社の龍山行第九十六號電車が新龍山分岐點にて制動機に故障を生じ運轉不能となりて停車したる爲め忽ち六七臺の電車は立往生をなしたるが臨機の處置に依り間もなく運轉を繼續せり

◎山名氏の施米

▼自家附近の下層民に

岡崎町材木商山名松太郞氏は岡崎町、三阪通、靑葉町に於ける下層民の爲に施米をなし居れるが施米戶數九十六戶、人員二百十六名にて去二十一日より始めて九月卅日迄に九回の施與をなすものなりと

◎金持の癖に 安賣米を買ふ

京城救濟會事業たる米廉賣に對しては幾分現金の融通ある者は購買し得るも平實民は購入する能はざる者ある狀況なるが相當資產家にして廉賣米を購入したる者あり現に京城觀水洞居金永始の如きは年收二千五百餘石を得る資產家なるに拘らず使用人を校洞普通學校に派し購買せしめたる事實あり

×緩衝機× (投書歡迎)

學校組合吏員へ 南山町愛讀者

京城の學校組合の事務取扱者が不親切で不勉强なので一例を紹介する、私は年收五百五十圓で等級は三十五等となつて居る、して見ると戶別割賦課額は六圓[illegible]で、一期一圓五十五錢の納入に過ぎない、然るに告知書には二圓とあつたので不思議に思ひ同じ年收の隣の人の告知書を見ると何れも一圓五十五錢とある

私に對する賦課額の誤つて居る事は三つ子にだつて解るので早速學校組合に到りて賦課の不公平を詰ると吏員が出て來て『貴方の年收は五百五十圓ですから三十五等に相當します、二圓の賦課は過つては居ないが貴方の方が他の者より安い、それが間違ひで貴方のより安い者は追つては居ない、私は追徵致します』と御託宣だつたので再度僕は大いに憤慨して、異議の申請と共、つき返した、然るに勤勉周到にして責任觀念厚くある可き吏員は再調もして呉れない、從つて年收の低い者に對して追徵もした模樣もない、學校組合にそれ程事務が繁雜なる印刷物があつて給仕にだつて直に解るやうに出來るではないか、年收額から等級まで反問した一吏員が、[illegible]の戶別割と誤つて居り、而して再度の調べを請求されても、尚且つ前記の如き、無責任な言辭をなして、一時を瞞過すに至つては言語道斷と言はればならぬ、怨嗟逆方だから徵收成績の擧らぬのは無理もない

◆餘り組合員を愚にした遣方だと言はれても返答は出來まい、常に怨まれる吏員は以て奈何となす

川上理事に望む 東拓社員總代

◆物價は近しく騰貴する、而も尚は騰貴を續けてゐる、平和が來ぬ限り此の騰貴はつゝ止むかならず、京城でも鮮銀朝鮮銀行其他銀行會社の大部分(敢て全部とも云はず)手當を給せぬ小會社もあり)は臨時手當を一割乃至三割出してゐるのに資本金二千萬圓、日本でも聞こえた大會社の東拓が一文の手當をも出さぬのは甚だ心得ぬ仕方である、それも戰爭のため營業の收入がわるいとでも云へば兎に角米は上つて此の四月の決算には百萬圓以上の餘分の利益の一部分に困り、償却と云ふ名義でしまひ込んだ位ではありませんか

◆然も社員には少しんでゐた貸與も一向話しぬとはどうした譯です、前記以下の社員の面上に菜色あるは足下が毎日見らるゝ所でせう、此位經過しては實際心細い上級の社員は娛會社とか兄弟會社とかの重役になれるでせうが、吾々はどうして下さる

◆足下は近く東上されるさうだから今回は是非臨時手當支給案を足下から重役會議に提案可決して土產にして下さい、敢て訴ふ、服價米を賣出さるゝのは結構です、然し足下の足許の社員の苦境も救濟して下さい

天氣 一 晴 (二十三日午後六時發)

八月二十四日[illegible]

日出 五時十六分 日沒 七時[illegible]

第十四期決算報告 (大正七年上半期)

貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込株金	三〇、〇〇〇・〇〇〇
家屋	二九〇〇・〇〇〇
什器	七五五・七〇〇
受取手形	一八、四五一・六一〇
委託品	一八〇〇・〇〇〇
貸方勘定	二〇六・四五〇
當座預金	九二・二五〇
金銀	一六四・一八〇
繰越損失金	二二五・五〇〇
當期損失金	一九四・一六〇
合計	五四、八八九・八五〇

負債之部

科目	金額
資本金	五〇、〇〇〇・〇〇〇
別途積立金	三〇〇〇・〇〇〇
法定積立金	八五〇・〇〇〇
家屋償却積立金	三〇〇・〇〇〇
貸方勘定	七三九・八五〇
合計	五四、八八九・八五〇

右之通リニ候也

大正七年八月

京城競賣株式會社

追テ監査役缺員ニ付選擧候處江頭運平[illegible]

新提供

子の見るべき…親の見るべき…

新派 母の淚 (悲痛哀切極りなし)

第九 百萬弗の秘密

喜劇 景清錣引き

二十三日より 黃金館

◎◎◎◎◎ 移轉御披露

弊店儀今回旭町壹丁目に移轉從來通り料理業相營み居候に就ては御便を旨とし至極安値に便利相謀り可申候特に弊店の誇りとする處は閑靜の小坐敷數間有之一夕の御清遊には最も適當の稱を得居候論より證據一回御試みの爲め是非御運び被下度願上候

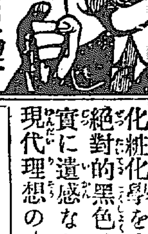
京城旭町一丁目 太陽組車帳場向

會席御料理 梅花

電話二[illegible]四八番

御旅館 朝日館

[illegible]本町通り 電話[illegible]番



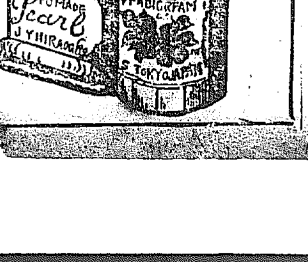
強胃消化錠

アナタの胃病にはマーゲン

八木田博士御處方 島田博士御鑑查

本劑の特色 二博士確證の本マーゲンは從來の胃病藥と異り其卓效は根本的に胃の機能を盛んに消化を佳くし食慾を治し胃弱を治し癒る

大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房



毛髮の榮養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり

パール 煉香油

パール ポマード

パール 椿香油

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺憾なき……現代理想の――椿香油なり

代理店 大阪 平尾レート

本舖 東京 平尾パール

▽藤井大吉 ▽米を拔取る
元山本町二丁目米穀商藤井大吉は[illegible]へたる事實を元山署にて探知し二十一日突如同店を臨檢し在庫米の數量及び品質等を檢したるに何れも其昼日に於て前記に因ると拙せ[illegible]

◎價格に抵して 粟を施す
‖方伊藤氏の美擧‖
黄金町藥種商方伊藤氏は米價昂騰に[illegible]では十七日[illegible]調査引換券を配布し居れるが施與額は家族三人以內は一升、六人以內は二升、六人以上は三升の割合にて一千戶に粟を施すものなりと

[illegible]左の如し ▲金十圓朝鮮及滿洲旧者黒澤以南▲金五十圓東洋[illegible]▲金廿圓北村[illegible]▲金三百三▲金二百五十四平山松太郎▲金三百圓仁川吳服商組合▲金二百圓木村[illegible]▲金廿圓京日支局[illegible]▲金五百[illegible]
[illegible]る申込み十二石三斗[illegible]醴一斗宮町販賣所は十八石五斗升醴館申込十九石一升麥の販賣四斗醴用販賣所外米三十一石八斗六

元山の一日
◈中學校と遊廓
街の中にある元山の雪隱

海水浴場のことを書いたから序に紹介する。

時は夕景、藍を溶かしたやうな海の面がニュートラルチントに光る頃だ。記者は再び松汀里の濱に歩を運んだ、休憩所の附近迄來ると折しも通り懸りの朝鮮女が互ひに目ひき袖ひきクス〳〵と笑つてゐる。何を笑ふんだらうと思つてヒョイと彼等の視線の走る方に眼を注ぐと、例の休憩所に西洋人が二人ゐる。今迄、泳いでゐたものと見え二人共ビショ濡れて、平氣でポタ〳〵と滴る水泳シャツを脫ぎ棄て、本當の裸體一貫になつて五體を拭いてゐるところだ、他人に肌を見せることを此上もない恥辱と心得てゐる西洋人としては頗る大膽、實に思ひ切つた英斷？である。然し、是は然う敢て可笑がる程の奇妙なものではない、では件の鮮女は一體何を笑つてゐるのか、沈思默考、稍之を久しうしたが生憎と悟りの悪い記者には、何うしても其理由が解らぬ、實際を目擊した記者に解らぬから讀者には尚更解り惡からう。

雖然、鮮女は相變らずクス〳〵笑つてゐる、餘り笑ふので西洋人も氣が附いたか、如何にも極り惡相にハッとして持つた手拭ひを早速の幕—『月に恥かし吾が風情』と云つた見得である。ナーンだ馬鹿々々しいと笑ふ勿れ、事實はスフヰンクスの謎以上の謎である。然も、スフヰンクスの謎は解けたが此謎は遂に永久に解けまい、又解けたら夫こそ大變だ……。

閑話休題、凡そ土地として多少の問題のない土地はないが、元山も可なり問題の多い土地らしい。曰く平元鐵道敷設問題、曰く中學校新設問題、曰く遊廓移轉問題、曰く何、曰く何々と數へ立てれば十本の指を二三度折り返しても到底追つ付かぬ位である。其中、平元鐵道は目下豫定線の實測中とやらまだ〳〵當分はモノになるまいが中學校の方は元山市民の熱心なる運動效を奏して愈々新設せられる事となり、既に來年度豫算に計上されたとある、事實とすれば誠に以て目出度い話し。

次に遊廓問題だが是は早晚移轉する事になつてゐる相な、遊廓と云へば一家の雪隱も同じこと、雪隱は大抵裏ときまつたものだが元山の遊廓は街の中にある、實に怪しからぬ話しで、風紀の上から云つても體面の上から云つても是は速かに他に移轉せねばならぬもの、寧ろ、今迄放置してあるのが間違ひだが、其處には矢張底もあれば蓋もあり……てな深あい事情があるのだらうと察して置く。

聞けば、其筋で指定した新遊廓地と云ふのは素適滅法に遠い相だ「惚れて通へば千里も一里」とは云へ是ぢや滅多に行かれぬ哩、とは廓雀の囀りだが結局其方が親の爲なり伜の爲だ、素見多女郎に惚れるよりは家で女房に孝行しやんせ金も殘れば藥も殘る——確に一理ありと云ふものぢや。

◎東省總籌備所
◇或は實現せらるべきか◇

久しく天津に滯在し頻りに何事をか畫策し世人の視線を集注せしめつゝありし張奉天督軍は二三日以內に愈々歸奉の筈なりと云ふ因は督職を空にし久しく其鎮撫の任を忽にしたる結果か各地に匪徒起り或は省城內に南方側派徒の侵入等ありとの謠言蜚語續出止する所を知らざる有樣なれば遂に背京を中止し以て歸奉を企つるの止むなきに至れるが如し、之に依つて考ふるに同氏西上の目的は悉く失敗に終れりと云はざるを得ず如何となれば彼が當初奉天を出立せる時の企望や如何、其主張に依り極力奔走せしも全然用ひられず然るを以て將來南方の件等に就きては全然周知せざる事に決定し此次の政府出兵に策應し只管東三省の邊防を鞏固にし國備を整頓すべく遇總統に面謁し奉天混成七個旅團を師團組織に改編し三師を作り一師は政軍出兵に役せられたる第九師第三十三團の駐屯したる南狀に補充し二師は奉天に駐屯せしめ三省防備に役すべく協商し奉天に東三省國防總籌備處を設置し長春に兵站司令部を設け各省域要地には兵備處を置き中央政府よりは何宗迪中將張鉞少將を特派され奉吉黑三省よりは兵衛者五名を抜擢し帮辦事務を執らしむる方針にて改編三師の師長としては張作相、張叙五、吳俊陞、孫烈臣の諸將を推薦せりと傳ふ要するに總籌備處と云ひ目は異にし居るも畢竟東三省巡閱使たるの準備に外ならざるべし(奉天)

◎奉天銀行計畫

般來計畫中なりし奉天銀行は設立準備急速に進行し前日奉天信託社樓上に於て發起人會を催し諸般の打合せを爲せり同銀行は其資本金百萬圓(四分の一拂込)總株數二萬株にして其內發起人及び賛成人に於て一萬七千株を引受け(此內支那人引受け四千株)殘餘三千株を公募すべき筈なり本店を奉天に支店、張所を必要の地に設置し一般銀行業務並びに貯蓄銀行事務を營むの目的なるが奉天に於ける金融機關は殆んど完備せるの觀あると雖も多くは一流の大銀行多きを以て取引の範圍自から限りあり寧ろ土地に適應せる一地方銀行設立の必要を感ずると共に同行は專ら一流銀行の低利資金を普及すべき機關として益々奉天勃興の機關を利導助勢するの目的にして奉天に出融組合及び從來專ら支那側金融機關たりし奉天倉庫金融株式會社の業務財產等一切負收繼承する事となれりと云ふ(奉天)

◎熱烈の情溢る

滿洲行動車が四平街を通過するや在鄉軍人會員官民及び小學校兒童は國旗を手にして慇同こなく送迎し夜は小學兒童を除き交代にて送迎する等熱情溢る(四平街)

◎輕鐵開通期
◆慶北慶州琴湖の區間延期◆

豫て種々の障碍に因り延期に延期を重ね居れる朝鮮輕鐵大邱浦項線の內琴湖、西岳(慶州)間廿四哩一分の新區間の開通は最早一小部分に對する線路上の砂利撒布を剩すのみにて殆んど竣工し總督府鐵道局より出張の寺田技手一行の檢査を受け完成の部分は既に檢査を了したれば來る廿五日より愈々營業開始の豫定なりしが又復數日前よりの降雨の爲め河川增水し土砂の採掘不可能となりたれば右小部分の撒布を了くる能はざれば或は廿五日には間に合はざるやも計られざれども遲くも本月中には開通すべしと(大邱)

◎共進會と支那人

慶北共進會大邱協賛會の寄附金募集に就ては既報の如く各擔當者の手に於て之が勸誘中なるが大邱在住の支那人側に於ても大に本擧を賛し大邱京町二丁目居住張玉堂氏より五十圓、同張萃臣氏より三十圓を何れも寄附したりと(大邱)

◎毛は好況で 獸皮は不況

◇獸毛　奉天獸毛は先日來內地不況に伴ない相場何分か下落し時間されつゝあり然るに內地は一時門下猪子毛(卵毛)黃色物一斤洋九圓黑色物一斤洋四圓見當を以て取引を買控へをなしたる結果各店共荷捌こなり競ふて買入れを始め今日に於ては益々漸騰の氣配を示し其商行きの如きも甚だ良好なりと云ふ最近大阪よりの通信に依れば百目單色物金三圓七八十錢黃色物八圓二三十錢なりと云へば其間相當の利益あり目下最も有望と目されつゝあるは麝香猫の拔毛にして同品は奉天に於て仕入相場一斤洋三圓五十錢位なるもの大阪百目金四圓七八十錢の賣行きにして而も需用者續出の形勢なりと云へば最も有利事業と云ふべし其他羊毛の如き馬尾の如き大宗の獸毛等も西洋人の手に依り外國に向け輸出されつゝあり日本側としては三井最も多く之を扱ひ其他二三の同業者あるも未だ幼稚にして問題にならず殆ど毛の如きは全部支那人の手より外人に渡り而して天津より日本或は他外國に向け輸出され尤も有望事業の一なりと云ふ

◇獸皮　奉天に於ける一般市況は甚だ沈靜の狀態にして何等捗々しき取引を見ず先日迄相當の輸出ありし馬皮の如きは銀相暴騰の爲め仕入値に影響を來し一時中止するの已むなきに至れり如何となれば目下奉天相場は一枚洋四圓七八十錢見當にして金銀の差一割を加へ京價金五圓一二錢以上となり運賃稅金六十錢を要する外荷造費驛持出費等十錢位は掛る筈なるを以て目下大阪取引相場の金五圓八十錢に比し既に多少の損害あれば若し場合に依り途上停滯を來さば金利其他を見積るに非ざれば當分つ、居るの外なし只銀の下落が或は閑散は免かれず牛皮は五六斤物斤十圓九十錢見當なるが同品は日本向きとして昔く餘り輸出されず獸皮商の夏枯時季と云ふべし(奉天)

◎米が幾らしても 驚かぬ濟州島民
平素から用意して 食料を蓄積す
釜山局土木係長 稻塚技師談　島の歷史とローマンス

去月十八日より三週間の豫定を以て濟州島鐵道線の試驗及び電信線路計畫上の視察の爲め出張中なりしが此程歸任したるを以て近況を叩けば左の如く語る(釜山)

何處から見ても 同じ形の漢拏山

濟州島も隨分發展した樣である同島の中央には漢拏山と云ふ六千五百五十八呎の高山があつて八方に根を下ろし東西南北何れから見ても形態が同じであるが何分此の山脈の爲めか人家は統て海岸線にのみ集注して主要の土地としては邑內城山浦、西歸浦、翰林浦、秋子島、莱隱浦、舊朝天里、涯月里、其の他二三である人口は昨年末の調査に依ると日本人千名鮮人二十萬六千支那人二十名となつて居る同島は

◇牛農牛漁で　而も工藝品の製作が頗る同島の經濟を緩和して居るらしい經濟が比較的豐であつて他の米穀の需用を仰がぬので昨今の米價暴騰も知らぬ顏で至つて平和な日を送つて居る此の島では昔から三年に一度位飢饉が襲ふて居た爲め馬鈴薯や甘藷其の他の雜穀の耕農に努力して米穀は貯蓄すると云ふ習慣となつて居るので昨今では

◇仁川方面へ　移出すると云ふ有樣である殊に牧畜の盛んな事は非常なもので牛が二萬六千七百頭馬が一萬三千八百頭豚三萬七千 鷄六萬羽と云ふ數を示してこれを一戶平均に割充つると牛七十頭馬三十六頭豚九十八頭 鷄百五十六羽と云ふ有樣で

◇將來有望な　土地である行政教育其他現島司令村瓶君の敏腕に依つて益々完備し發展を極めて居るので誠に結構な事である漁業地として有望である同島は甘藷の產額四百萬貫朝鮮人用の笠子が一ヶ月の代金取扱ひ額三萬圓とは

◇驚ろくの外　ない是よりは話頭は一轉して風俗人情に移る衣類の色合が第一番に目に著いて色々其の傳說に就いて聞いて見ると斯うである邑內を去る半里の地點に

◇三姓穴　と云ふ處がある此處に昔、良、高、夫と云ふ三子が住んで居たが或る時東海岸(只今の金寧附近？)に木箱が漂著したので早速之れを開いて見ると其の中に石箱があり日本よりの使者が居て

赤い帶と紫の衣

を裝飾つた王女三人と駒、犢、五穀の種を持つて曰く『自らは日本よりの使者であるが此の島にては子孫の繁榮は覺束なし爲に贈りたる

◇王女を　各々娶つべしと此處に於て三氏は其の言の葉に從つて先づ漢拏山に登つて三神人互ひに弓を手にして石的に向ひ命中者を以て王女を娶ち而して各其職に就かん事を約したが良氏遂に王となり高は臣となり夫氏は農となつた稱して之を

◇三射石　と呼んで今尚ほ跡を止めて昔を語つて居る

◇行政區劃　は十三面百六十七洞に分かたれて居るが里は總て鮮內何れも何面洞何里と稱するに全島のみは何洞何徒里と呼び且つ徒里には一二三を冠して居るのは良、高、夫の三氏のに從屬しての呼稱なりと云ふのも又絶對に否定し得ぬ處であらう

◎支那式を發揮した喜劇
◇市中に馬賊出現はる◇

◇この流言を探れば三四日以前より安東縣の舊市街に馬賊の群が入り込んで潛伏して居る形跡があると云ふので支那の巡警や巡兵が急に戒を嚴にし殊に夜間支那人が日本市街の方に出入するものに向つては其の用向や行く先地を取調ぶる事の愈々嚴重なるより夫れとなく日本の官憲側で注意して見て居ると何等馬賊の侵入した兆候もないので益々臭いと段々探つて見ると

支那一流の術數

であつて、其の魂膽なるものは殆んど噴飯に堪へない程の稚戲であつた事が判明したので日本の警察官より嚴重なる抗議を申込んだ處が直ちに其の警戒を撤して仕まつたと云ふ一場の物語りがある、其の次第を聞いて見ると、安東縣には新市街の三番通りに安東舞臺と云ふ支那劇場がある又舊市街にも新々舞臺

支那芝居が在て

常に兩々競爭が劇甚であるが、舊市街の新々舞臺の方の資本家は支那の官憲や支那の富豪連中であるがごうしたものか安東舞臺の向ふに立つて營業して見ても甚だ振はず、常に受け太刀の氣味であるを先生達は甚だ憤慨に堪へないものがあつた、今度も亦今度こて安東舞臺の方が休業中であるを幸ひ

一週間四百圓位

の俳優を買つて來て愈々蓋を明けて居る處へ夫と前後して安東舞臺の方には大枚一千圓を投じて有名な一座を北京から呼び寄せて開演して見ると、藝もよし顔も好いと云ふ評判が立つて、安東舞臺の方に人氣が湧き千客萬來の大入を占むるので、新々舞臺の方では嫉けて口惜しくて堪へられぬ所から、急にない智惠を搾つて思ひ付いたのが

馬賊潛伏の一幕

であつた、由來安東舞臺は日本街にあつて、支那官憲の自由にならぬのみか巡警さん達が意張られもせずロハ見も出來ぬので一つは其の腹癒せと云ふ魂膽でもあつたらうが、それやこれやの手配りで支那街より日本街に通行するものを推何し若し三番通りの安東舞臺に行くのだこでも答へるものなら午後十時過ぎは一切通行相許さぬと嚴達なので

支那人は恐れて

安東座に寄り付かぬと云ふ次第が判つて見れば下らぬ事となつて支那の官憲自らが流言蜚語を放ちて土地の治安を妨害するのであつたとは近頃甚だ不埒千萬である、而し日本警察のおかげで安東舞臺の方では斷つこアントウ致しましたと洒落て居るとか(安東縣)

米問題と地方

◆篤志家續出
慶北迎日郡浦項は今次の米價暴騰に際し慶北郡中最も米價昂騰し一時は五十錢以上の高値を唱へたる爲め同地居住の內鮮人中々生活に窮する階級の家庭には生活難を叫ぶ向あるを耳にしたる同地學校組合管理者にして迎日水利組合長同漁業組合長等の肩書を有する中谷竹三郎氏は率先して之等窮民の救濟を思ひ立ち一般元山方面より購入したる粟百石の到着を待つて是等窮民に對し販賣を開始する由奇特といふべし(大邱)

◆宴會を廢す
慶尙北道にては嚢に道長官より管內府尹、郡守、島司に對し時局に際し一般民の戒飭方に就き訓令したるが今回更に部長の名を以て道府郡島吏員學校職員等に爾今監督官廳及び其他の諸官衙吏員の出張巡回等に際し歡迎晚餐會等諸種の名目を以て宴會を催すことを一切見合すべき旨通牒したり(大邱)

◎儲かるか儲からぬか 鷄を飼つた實驗

國民新聞にて募集したる實驗談中の一二を左に[illegible]

◇失敗から成功　內職に適當なり
私は元來小鳥道樂で昨年友人より雛鷄一組を讓り受け夫れが二十五日間經過すると卵を産みました、夫れからチャボに十個の玉子をだかせたが十七日目に雛が二羽孵れたが其の二羽も三日目に死ました第二回目も失敗、第三回も失敗、併しそれは親鳥が若い許りでなく自分の無經驗の結果であるを了解し、更に第四回に十五個宛二腹にだかせ廿一羽の雛を得、內二羽を損じ廿日ばかり育て、置くと知己の小鳥屋が來て十九羽で金十五圓に買つて行きました、所で是までかけた金が親鳥の代金七圓、九箇月間の餌粉其他で金五圓〇四錢外に籠の代金一圓二十錢計金十三圓二十四錢、精算の結果金一圓七十錢と親鳥が儲かりました、只今では親ばかり三十羽、雛が十五羽居り是れ迄隨分卵を賣りました、やはり鳥屋に賣るが安くても早くてよい、先づ餌を安價に仕上る事が必要です、小商人や小役人の細君達の內職には實に好い事と思ひます(埼玉縣鴨田榮次郎)

◇騙されぬ樣　素人が鷄を飼うて狡猾な商人の爲めに意外の失敗を招くことがあります、餌を買ふにしても餌粉の中へ鉛や鰹や糠が交ぜてあつたり、卵を買へば無精卵を交ぜたり、又雛鷄のチャボや雛鷄を買ふにしても充分氣を付けませんと法外な値を挪つて結果が面白くなく卵一つ生ぬものをだまされる事が度々ありますから、鷄を飼ふなら充分御聞合せの上、責任ある紹介者付きで分讓を受けて、奢贅におやりになれば、趣味と賓益とを兼ねた家庭の立派な副業となります(東京久世由生)

◇儲かる計算　鷄はよく飼育すれば一年に二百以上二百五六十箇產卵する、卵は食用として十錢以上(種卵なら二十錢以上)も食鳥としても大から春にかけて一羽五十錢以上一圓內外で賣る、然るに一日の飼料は一羽一錢內外であるから、いかに計算しても確に利益はある、卵は種卵、鳥は生鳥で賣ば儲けは一層多い(千葉縣吉井生)

◇儲けた實例　私は商賣人から野鷄を買求め何日までたつても卵を產まず飛んだ失敗をしました夫から餌の配合(河魚粉、米糠、豆粉、糠の煎しもの)と少量の白砂糖及び青菜)を誤つたり砂を不潔にして害蟲を發生させたりしましたが近頃雛や卵や親鳥を賣つて三百圓許り儲けました(岐阜市酒井生)

◇損した實例　鷄は儲かりさうで儲かりません私は儲けたのは一度だけで却々損をしました原因はすぐ死ぬからです(箱根岩田生)

◇鷄は有害也　今日鷄を飼養するの頗る盛んなるは恰も往時豚毛飼養流行の如く專ら射倖心の爲にするものにて之に依つて利を得るものあれば又失ふ者あるを免れず今にして之を矯正せざれば愈々惰民を誘致せん(赤坂君島生)

◎勇敢なる水兵
善行章を授けらる

軍艦河內乘組一等水兵平塚米藏は去月十二日、同艦爆沈の際、中部上甲板左舷側にあり、機關部員の脫出せんとするを見るや水壓機室の非常口より上甲板に脫出せんこするを見るや

▲危險をも　打忘れ、挺身救助に努め、辛うじて逸出せしむるを得たが、その身は又大火傷を負ひ、吳海軍病院に入院治療中終に逝れた、又同艦乘組二等水兵大野庫治は、後船橋上に、當直勤務中、爆發と共に艦體傾斜し、危機刻々に迫るに拘らず、一步もその位置を離れず、遂に傳聲管に就た儘、艦と

▲其の運命　を共にした…何れも非常の場合に處して沈著、己を犧牲にして僚友の危急を救ひ自己の職に殉じたその勇敢な行爲は、洵に軍人の模範とするに足るものと認められ、今度特に善行章一線宛を昇級せしめられた

蠶況
◎平南の夏秋蠶

平安南道本年度に於ける夏秋蠶況豫想は成績極めて良好にして掃立枚數一萬五千二百枚に對し收繭豫想約三千四百七石なり而して之を前年に比するに掃立數に於て約六千枚、收繭額に於いて三百石の減收なるが右は春蠶期に非常の桑不足を告げたる爲め之が價格等に一貫目七八十錢乃至一圓に達したることあり故に桑葉不足の懸念ある養家は一般に手控へせし爲めなること更に之が原因として昨年秋蠶期に摘桑過度なりし爲め今年は昨年に鑑み今秋に於いて減少せしによるものなりと云ふ(平壤)

子宮病血の道と神痂湯　リウマチスに惱む人は

彼是と迷ふ無く
眞に能く効く良藥神痂湯を試みよ現に百方手を盡すも効なき難症の血の道や多年不治のヒステリーや、數年難治の子宮病を始め固疾の疝氣リウマチス神經痛の方々が神痂湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスッカリ快癒し嬉さの餘懇篤な禮狀(現在保存一般の閲覧に供す)を送らる・實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば刻試みよ神痂湯は家方の良藥にして今や全國各藥店にあり

●こんな徴候
●胸、腹、手、足、肩、背、腰、膝、等のつり、腫れ、しびれ、又は筋張り痛み●彼處此處こ移動し何こなく怠く●腹張差込み●腹なり胸つかわ●溜飲食進まず又は進過ぎ●便秘又は下痢●逆上血眼●眩暈●耳鳴●頭痛●齒痛●頭重く●肩凝●腹に力なく●腰足冷ひ夜眠られず●根氣薄らぎ記憶あしく●物事に感じ易くぶり●顏手足の浮腫等子宮病血の道と疝氣リウマチス神經痛及腰より起る徴候に惱む人は片時も早く神痂湯を試みよ

藥價　半週分五十錢　一週分一圓　二週分一圓八十錢　五週分[illegible]　試用十二錢

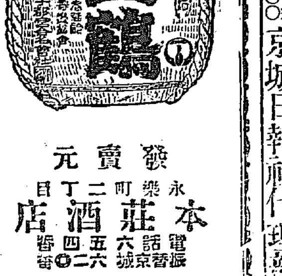
名古屋市東區京町一丁目　本舖藥屋　荒川長太郎　合名會社　電話長千四三七番　振替東京一二四三番　大阪二三九五番

◈工賃値上廣告
諸物價騰貴の爲め今般組合決議の上工賃を左の通り改定仕候
一、工賃(一日)金貳圓
京城和洋家具建具工業組合

京城本町三丁目　電話五七八番　壽座
世界的大活動寫眞今回披露廣告の爲め
鮮滿巡業の途
當地　當る八月廿四日より至三十日迄　一週間
◈定設寫眞と競爭◈寫眞定評何れにあるか
◈必ず見落し給ふなかれ◈最も眼新しき奇拔の寫眞◈如何にして撮影なしたるか◈
破格の入場料　一等四十錢　二等二十五錢　三等十五錢　小供半額
△一日毎に替り寫眞差替ます
大阪三エス商會巡業部

耐火煉瓦
▲蠟石煉瓦(三十番より三十四番)
▲シヤモット煉瓦(三十番より三十四番)
▲ダイナス煉瓦▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター其他耐火物各種
平壤府橋口町(電話番號五番)　合資會社　京谷商店

金剛山寫眞帖
定價金貳圓五拾錢　送料府內三十錢府外五十錢
金剛一萬二千峰の絶勝中其の精粹を抽き鮮麗優美なる寫眞版約九十葉を選びたるアートペーパーに印刷して一冊の美事なる畫帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べくまた近時交通の便開けしを以て探三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絶好無二の東道者たるべし殊に製本等は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接室等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり
發賣所　京城太平通　振替京城三〇〇　京城日報社代理部

優等清酒


發賣元　永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五四番　振替京城二〇六番

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　振替貯金口座京城三三三番　電話六、〇一〇番
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
出張所　林、[illegible]
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

◎遞信[illegible]
二日午前入港の[illegible]丸上陸二三等客 一等(十四名)[illegible] 山多水郎、鈴木東作、外八十名 二等(四十四名)[illegible] 伊作十郎、安野[illegible]、同友行、小川[illegible]
[illegible] 三等(二百三十二名) 二十二日午後入港[illegible]丸[illegible] 一等(八名)[illegible] 八輪[illegible]、瀬川三五郎、伊藤[illegible]
[illegible]

時報 曇
京城測候所(八月二十三日午後)
前日最高温度 二十九度六分
前日最低温度 二十度二分
[illegible] 二十三度四分 [illegible] 二十八度四分
[illegible]

商況

東京期米特電

二十二日後場 寄付 二十八圓十錢 二番 二十八圓十九錢

兵庫期米特電

休合

大阪株式特電

銘柄	拂込額	日後
宇治川水	五〇、〇〇	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	—
東洋紡績	五〇、〇〇	三七、〇〇
合同紡績	五〇、〇〇	三九、五〇
大阪商船	五〇、〇〇	三七、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	三七、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	三三、〇〇
堂島米穀	五〇、〇〇	一三五、〇〇
東京株式	五〇、〇〇	—
大阪株式	五〇、〇〇	—

大阪三品特電

二十二日後場 八月限 四〇一、三〇 九月限 …… 十月限 …… 十一月限 …… 十二月限 …… 一月限 三九二、〇〇

大阪期米特電

二十二日前場 先限寄付 二十九圓丁度 二十八圓六十二錢 九節 止め 二十八圓八十錢 後場 寄付 二十八圓四十錢 九節 二十九圓〇九錢 止め

下關期米特電

停止

雜報

●綿布手堅し　安林 に連れ綿布相場も又小弱く二十二日の三銘柄入電は三銘先物十三圓三十錢にて當市も弱合みながら粗布三三一三百五十三圓を持合ひ十六磅物は三百二十三四圓處迄の手合せ行はれたり昨今市況は在荷薄く本國高と共に氣配強く與裝の十九圓二十錢見當へ唱ふるに至れり綿布は十八圓と稍々引締まりたるも粗布に比し今一段弱含みなるが如し

●三品更に不勢　二十二日三品前場は當限四百六圓先限三百九十六圓九十錢當限の手堅きに比し先限は氣力薄し後場は當限四百一圓三十錢先限二百九二十錢各期四五圓方低落せり呼吸が天井打たかは兎も角として一般の人氣は前途推だ樂觀せるもの、如し

●牛皮は不振　牛皮取は出盛り薄の時期に當り本年は鮮商の多くが近頃漸取引に熱中し居れるさ先般釜山より逆送されたる思惑外れの粗惡皮の滯積せる事にて賣買は一時出兵見込みに人氣沈めきしが其後再び沈靜狀態なかばに近來は其那皮の品質改良されたる結果之が輸入增加し從來內地に輸入せられたるものなるに反し昨今は滿洲北從益々韓國皮不足の場合に於て鮮皮の補充買付を爲さんとする傾向ある爲め大皮中皮の如きは許許不振の樣に達せる者も到底しての如し目下小皮は前々商談を進め兼ねる爲小皮相場は最近約二圓二十錢方昂騰し正味百斤に付きで十三圓見當に上りたり之を品薄の

●白米眼先高　白米 は原料に比較して割安なるも此程評唱しき際と値上げを强ひ居れるが昨今各店米所共前約注文の引渡しに逐はれつ、あると數量多の精搗に忙殺されて且つより他所の新規注文頻々入込みに居れば結局市中卸値段を維持しべく近く幾分の引上げを見るに至らん

●關東麥市況　大麥は頃日人氣惶亂し武州六升六合茨城六升一合までの下押しを演出したる後北海道日向等は揃ふに所至り時好人ふの爲め糧秣廠並に各師團は購買を取消す軟弱に傾き武州六升三合茨城六升二合引籠み全人の購買あり見越しなき漸く態度强硬上の下押し狀態は此れとなりしも見通なり居る小麥は引き續き商內細り居る模樣なり大手筋とし供給も菜穀大武州四升見當ものと在地は賣惜みの見計らるに小麥安は產地は價格を維持しつ、各品が其後米關係よりして遂に各品は案外强硬を維持しつつ秣廠の購買も成立せし事さて最近又々强硬に向ふに至れり

●大麥益好況　大麥は一部買進み盛んにて人氣更に引立て、依然高値に向けつ、平北新物八圓二十錢の相場は九月限十錢より十圓見當にて地上方より買附品の到着せるもの日に絕けず

正米又上向く

正米は新規買進み口の手を引きたるさ一般行過ぎの觀ありたる爲め昨市況…前場の通り落着き模樣なりし同午後の出来値は前日より約五六十錢安に取引行はれたる夜に入りてより突然仁川筋の買附初まり若手の手合せ行はれしを以て一旦氣弛み模樣となりし市況も再び氣勢を揚げ來り今朝は四五十錢乃至七八十錢高を唱へたり見當は日本種玄米三十三圓十錢在來種三十一圓五十五錢處なるが斯る際の常として出來値は前値段より一圓近くも割安なる物もあれば却て五六十錢方高値の物もあり一せず何ないふにも在米薄き白米注文の多き折柄丈けに眼先の軟化は望まれ難きかに思はる

鮮白品薄亂調

鮮白は原料高に反し昨今鮮人小賣商間には殆ど競爭的に販賣行はれ賣行きよる好況なるに反し原料は再び品騰歩調に移りしのみならず鮮人市場の在米減少せると新規注文盛みの上救濟米等に忙しき極め居れる日本人の精米所側に於ては此處何れも鮮白調製の餘裕なき爲め勢ひ本品が缺乏を感じつ、ありし之が爲め市場の人氣甚だ亂調に流れ來り今朝の如き南大門市場の成行は全く無見當の有樣にて眼先或は激變なきやと危ぶまれつ、あり

下關相場

▲朝鮮米は依然產地高昨今產地の如きは區々の情報なるも各地より相當に注文入り込み居て相場は强硬を傳へ最近の商況に依れば乘りの四十二圓處に比して之れに運賃其他を加算すれば當地の相場として先づ四十二三圓に相當する譯也▲小麥は穩らず前報の如き淸水筋の百俵の輸入ありしが元來在荷左程多からぬと共に後米側も漸く氣迫り歩調にありて產地の如きは諸附模樣を傳へ居る折合手持筋の賣り急ぎざるに依り昨今商人氣は盛んならずも變らず格▲大豆は不引立本品は既報の如く最早一般の人氣落附模樣に云ふにあらず然れども兎角相場の地硬らざるに依り市況安しさ段々買漁り、ありて自然手持筋の商況に薄い折柄さて眼先安見在荷なな以て兎角買手の進まざる爲め市況引立たず元山物の鮮品二百九十叺は二十一圓十錢に手合せ行はれ其他郡々の出來値は雄基產七百三十五叺投錨物三百八十叺等なり

各地商況

▲朝鮮米無見當　二十四圓五六十錢
▲汗米大豆　二十四圓五六十錢
▲金苅大豆　二十圓五六十錢
▲水源大豆　二十一圓五六十錢
▲元山大豆（現口）　廿一圓十錢
▲同當川　二十一圓三十錢
▲同大玉上品　廿二圓八十錢

◎木浦米況（二十一日）大阪市場は強力を示しつ、ありて堅調を維持せる模樣なるも未だ全く恐れ品間台せの入電あり底入りと見ゆる程樣なるも品期に出來不申

◎大邱米況（二十二日）▲正米持合　昨廿五圓二十錢さ好勢に手合ありたる機先移出筋の約定籾物一段落の氣配に一齊見送り移出制限令の發布行ちの姿にあり一方在品拂底に買急ぎ物も無之爲め天出廻り遲れさ共に市場閑散小口の商談を進め居るも其他取引皆無を開示さず久々に氣配一向展なりし

▲籾　本日は二十俵品の入荷あり見當上三十二圓五十錢までのみ三十二圓にて取引ありたるの小口に取引ありて八圓八十五錢にて出來たるのみ以て五十八叺閑散三十二圓にて五十八叺見當り格別の買物も買人も無く依然高値の爲め賣りし强くせる事より當地も又引込みの廻狀持主側も商値の爲め運賃歩々しからず

釜山物市場（二十二日）

▲小麥（三四十錢高）前週以來不況續きにありたる本品は昨今仕向地氣配が頭を擡げたるや十錢高の高唱へなりしが持方五七圓五十錢にて二百餘叺の手合整ひ幾分活氣に復したる模樣也

▲正米無内地厭々報道すなかから產地よりの出穀捗々敷からざる折柄是て今三場賣物として郡相場にて各精米所白米注文原料買り入れ、適品買に務めたる米側とも下關市役所收方高料ら郡地保散更に見るべき商內を爲す一向見本へ手出さすされば市場味閑散更に見るべき商內行はれず氣配とせは依然買人氣きて丈けは小廿くさま「賣手は一向成行相場に應じ難くされば相當は大したる變動なく保合商況

南大門廻穀

[illegible]

仁川正米

▲朝の入津弗々あり▲正米界は依然賣物薄にて强保合を唱へ居るが時節柄餘り高値けぬ不引合さ且つ買進む手口なく爲めに商談捗々しからず見當相場は三等合格品三十三圓乃至三十二圓

生魚市場

京城日丸市場 元山物の入荷可成り多く仁川釜山物と合せ相當漁獲ありし爲め相場は總て安氣配なり　[illegible]

五十錢

地相安米三十二圓十錢より七八十錢

仁川取引所

二十二日前場

（新規賣買停止中）
▲第一節　中出來不申先二十六圓六十錢にて賣買⑧買にて千石の解商內行はれたり
▲第二節　中先共に出來不申
▲第三節　中先共に出來不申
▲第四節　中先共に出來不申
▲第五節　中先共に出來不申

二十二日後場

（新規賣買停止中）
▲第一節　大阪今前場先限二十九圓丁度と發會し二節八圓九十七錢三節九十八錢六節九十九錢六十一錢十節七十錢東京前場一節七圓九十錢八節九十錢八圓二十錢さ入電に接したり當地中先共に出來不申
▲第二節　中先共に出來不申
▲第三節　中先共に出來不申
▲第四節　中先共に出來不申

▲引跡大阪後場一節二十八圓八十錢二節八十九錢三節九十錢四節九圓丁度五節九圓十錢六節〇九錢東京二十八圓十錢十九錢の入電に接したり
▲引跡先二十六圓六十錢にて賣買⑧二千三百石の解商內付け出しありたり

市場雜觀

▲昨今後場は前場引後大阪十錢立會開始二十九圓丁度を寄付きさえたる高値さして前節八圓九十七錢九錢に保合八節七十七錢さ押し九節更に六十一錢さ五錢落し止めは七十錢さ小戾りを報じ東京は七圓九十九錢より九十錢と押し八圓二十錢さ反撥を報じたり▲當地は中先共出來不申に散會し止は五十錢鞘と縮少したる來たる京阪よりも大阪の先限は東京よりも一圓大逆鞘に發會かと思はしめた然るに詳細の事情を知るに由なき大阪の大上鞘は一外の感があつた

大阪の後場寄二十八圓八十九錢よりも漸騰五節九圓九十錢止め九圓○十錢東京十錢より九錢を以て接したり

▲大陸國天今朝第一節にて先限賣買⑧買にて千石の解商內附け出し行はれたるに止まり以下出來不申にて散會したり立會中電報は未着であつた東京市場は既に立會を開始し大阪も又前場よりも立會を開始したる時に際し仁川取引所は時恰も規賣買停止せられたる後の結合用取引れ爲めは其當時の事情に依り各値段を異にしたる事は無論にて停止後その正米の商況をけて二十七圓二十錢なからみ込事變に人氣急轉新落し途に二十九圓を以つて解合するものもあるが是等解合値

北濱だより

日數

▲鄭新株昂騰　前記現物取引百貳拾圓見當なりし郵船新株が六圓高の百貳拾六圓見當に昂騰を告げたのは株券の交附近ききを共に近く定期取引に附せらるべきを氣構へたるに由るも一面には同社今期の利益は增配して七割限當さへ豫期せらるゝのみか事變擴充の必要より拂込みの期も豫期せるよりも早めらるべき氣構へ親株よりも新株を割安なりさし有力なる向の買物加はれたるに由る

▲東洋紡績株　綿絲よりも昨今綿織布の海外賣行きは盛んにしてあれば日本に於ては綿布をも織出しつ、ある有樣なれば同社は從られつ、ある有樣にて織器の多數を有する同社は從て利益も多くして今期は前期に比して一二割の配當增加は必然なりと豫期せられつ、あれども何分にも同業は鐘紡の如く仕手の範圍が廣からず毛嫌ひせらる爲めに好望を稱せらる、割合に市價は伸び難く鐘紡新株に比してさへ拾圓以上の下鞘にあれども決算期の迫りて其の內容の一般の周知せらるゝに至らば少なくとも鐘紡新株と同位ではは買上げらるゝべしとて昨今當業者に同株の買仕込める有力筋もありさ

段附けは則停止

取引所へ段を附け出すは當日の引値段に依りたる中八圓三十二錢先限二十六圓六十錢を以て取引出し其間の差金は當該仲買人間に於て受渡しをするものであるが▲是は營業細則に依りたるものなるや否やを待たず然るに地方各筋より新聞紙上に掲示の解商內値段は一定なるにも拘らず其値段にて解合行はれざるさ値段の相違の點に就き仲買店へ照會し來るものあるとの說を聞くに至つて茲に其事情を明かにする事にした▲大阪市場は豫定の如く昨二十二日十限のみの立會を開始したるが東京より約一圓大上鞘の二十九圓丁度にて發會し二十八圓六十一錢と瓦落し七十錢に前場を了り後場は八十八錢九圓十錢と暴騰し〇九錢を報じ今前場は各限

新米が十限に間に合ふ　東京は北國筋の大逆鞘に就きて

東京大阪の立會を開始したる未著なるも米界は今や大天災期に際し東京大阪の立會を開始したるより茲に標準は立ちたるも本年は例年の例を以つて幸する事の出來ざる年柄なる丈け今後の變動質に逆賭すべからざる者あらん

糶 賣買仲買人 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長六五一六番

仁川米豆取引所仲買人 倉重俊輔 海岸町 電話 五三六番

▲下値は少なし

再三の諸報に市場は脅かされて前から得られた之が樣に安値を見込みたる向の失敗に終われる例もあるから居るべき筈であるが昨日の如き講和說の傳はれるに於ても市場は甚だしくも之が影響を蒙らず反つて之を機會に手明の買物が喚びて買方の手踏めを急ぎたるに由るが若しも之が一般に買進まし居る時ならばミイラの投物にても相當の打擊をなし得る筈であるが今日は寧ろ賣込みたさいふ事は一般に乏しきの無かつたが影響の爲めなり値頃の點から見ての事で居るが爲めであるから盛ゆるに賣込んでハヤ大なるに下値は無いとして居る向も高き事も無いさいう様に止めら居る爲めに安い處には買物の買込手詰め居るとして居る兩者共に手誓はを保合の機會か材料に接觸し一觸何らぬ動揺の正の買いとして來る者もあるに財政の補算もあるのであらう…正財界にても漸く保合も稍や久しきに亘つてモハヤ動機は近づきつゝあるやうであるから保合相場なりとして油斷する事は出來まいと想はれるのである

講談　塚原卜傳　第百七十五席　悟道軒圓玉口演

塚原卜傳、鎧井茲矩の兩人が天狗昇飛切りの妙術を顯して聚樂殿の屋上に飛上つたのは諸人の眼を驚かしましたが、兩人相談の上再び立合をしても無益さあつて再び身を躍らせるさ庭上へ飛下つたが其早業は鳥も及ばぬほど、一同アッと聲を擧げて賞讚いたしました、其兩人上座の方へ一禮して引退かんとする、前田利家が『コレ〳〵兩人、只今の試合は未だ決着にして勝負が付かぬやうであるが今一番改めて立合をいたしてはごうである』時に鎧井茲矩進んで『拙者到底卜傳殿に及ばず、依て何番試合仕るとも勝べき手は覺ひませぬ、御免を下されたし。』

『じつは私ども先代より揃へて居る者は、只今以て此の二道が、家康公の小手になりまして、萬一茲矩の首をお取りになる事は如何にも殘念だが、此樣なお話は止めませう』と云ふ。

『じつは』『拙者の鎧井と力は、天狗の兩人前後左右に飛んで見せて弦で兩人前後左右に飛んで見せましたが實に不思議な術で、前へ二十間左右へ十五間宛、後へ十間飛ぶ、上へは二十間でも三十間でも足に障るものがあれば幾らでも高く飛上がるこいふ家康公感心なすつて『武藝十八番の中隱形飛形の術名は見ねて居るが斯程の妙手あるものは日本廣しこいへご外にはあるまい、我朝の武藝者多しこいへごも卜傳茲矩兩人を以つて棟梁こなすべし、就中飛行の術は亂世に缺くべからざるもので ある』こ悉く御賞美になりました、後年柳生但馬守同飛驒守の兩人が德川家へ隨身して指南こなり

深山城守に就て天狗昇飛切りの術を學び、先年赤城の試合の時、卜傳の刎しき太刀を免れる事を得ましたれど、今日こなつては卜傳もまた山城守より右の妙術を授けられ、進退飛鳥の如く自由にして鎧井拙者の及ぶ處にあらず、況んや刀槍の術に於ては固より一步は讓る拙者、中々卜傳に打勝つこごかなりがたく此度の試合は拙者の負こして御覧のほご願ひ奉りますこ申上げた、秀吉公感心なされ『秀吉言葉を飾らぬ茲矩の申條、然らば此一番は何れが勝何れが負ご定めずして相打ちといたし置くが宜しからう』こ仰せられ、厚く兩人を賞美なされました、併し見る人悉たさいふ、然るに德川家康公仰せに、家『傳へ承はれば天狗飛切りの妙術は見るは今日初りて、願はくば兩人にて其術の變化を見せられよ、家康後學の爲 覽いた

ました壇此妙術を知らず、塚原小才次も又父より此術を授からなかつたご見ゆて數へません、或ひは惜んだのかも知れぬが、然るに細川の臣宮本武藏が卜傳より此妙術を授かつて居て之れを荒木又右衛門に敎へ、又右衛門は柳生の門人であり ますから之れを柳生飛驒守に傳授いたしました、これより天狗昇飛切りの術は柳生流四箇の口傳こなつて現今に至るまで其子孫に傳はり居りまする、さて上乘の首尾にて卜傳御暇を賜はり再び乘物ヶ獄の住居へこ戾りましたが、茲ヶ獄に別れを借しみ、乘鞍ヶ獄へ登つて參りまして久時卜傳の許に足を止めて居りましたさいふ、此人も卜傳にこそ劣れ武藝の道に於ては天晴の達人でございます、其中に光陰流水の如く白駒の隙を過ぐる

に似て早くも十餘年の春秋を送りまして慶長七年こ相成る卜傳時に六十歲、時しも十二月二十日の事夜半より降り積む雪は、山も溪間も一面に銀を以て包みし如く北眺望はまた都にて夢にも見られぬ風情であります、卜傳は二人の僕を對手に濁酒を傾け、薪木を閑爐裡に折入れて燃上がる炎に暖を取り、微酔の頰を窓の風に吹かせて降りしきる雪の景色を眺めながら『一夜北風寒、萬里彤雲厚、長空雪亂飄、改盡山川舊、仰面觀大虛、疑是玉龍鬪』こ臥龍先生の梁歩吟を吟じながら、餘念もなく景色を見て居りましたが何を見たか突然に横手を磁こ拍つて『卜時なる哉〳〵茲に一人の英雄來る』こ叫んでカラ〳〵こ大笑いたしまする。

◎四平街通信

▲大隊長歡迎會　守備第二大隊長橫山中佐は鄭家屯守備隊巡視を了り十七日歸來せるを以て四平街官民有志者は寬城ホテルに招待して新任歡迎會を開きたるが盛會なり▲學校寄附　田中地方事務所長は先に令孃二人を亡ひ是れが香典の返しを廢し其貴金を寺院建立基金に寄附せるが今亦小學校に金五十圓を寄附したるを以て學校にては適當なる備品を購求すべく考案中なりこ云ふ

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

院長 醫學士 森定吉 森內科 小兒科 病院（芙蓉醫院改め） 京城明治町三丁目舊鶴田醫院跡 電話二六二三番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛版 京日寫眞製版部

曆

八月廿五日 九星 舊七月十九日 甲辰

▲八白 あやふや論の事有日新事 …… ▲九紫 …… ▲一白 …… ▲二黑 …… ▲三碧 …… ▲四綠 …… ▲五黃 …… ▲六白 …… ▲七赤 ……

演藝案內

稻荷座　本町五丁目　浪界壯年泰斗桃中軒雲太郞一座　今晩の主なる出し物は▲早川燕衛門▲桃中軒太郞落語三遊亭遊若▲

富の道しるべ　山野五十雄村上唯吉共著　價十五錢 郵稅二錢　京城太平通 振替京城三〇 京日代理部

大正館　櫻井町 電話八七三　當る二十三日より公開　▲米國キーストン會社傑作　喜活劇『安全第一』五千呎　▲新派悲劇『霧の雨』全四卷　▲米國ヴアイタグラフ會社特作品　連續大活劇『秘密の王國』五、六篇四卷上場　▲舊劇『出雲怪談』全三卷

壽館　本町一丁目 電話一〇五〇　八月廿三日十一回　▲狂言峰吉の水山 …… 力士の立川鬼面山谷五郎　▲夢幻劇 力 全五卷　▲喜劇 燒かぬ嫁 全三卷　▲大喜劇 拳鬪家 全五卷　▲米國ユ社 溪谷樂活森の女神 全三卷

浪花館　明治町二丁目 長電二六〇番　▲八月十四日より開演　東京大阪合同落語大一座　▲京清綴引き　▲百萬弗の秘密　十六篇

有樂館　早川演藝部直營 活動寫眞常設館 ……

黃金館　電話（夜間）二一六六、二一六七 ▲當る八月二十三日より新寫 ▲新派『母の淚』劇全三卷 ▲連續大活劇『百萬弗の秘密』 ▲『火中の美人』全四卷 ▲大活劇『噫悲壯歐洲大戰亂』全三卷

壽座　本町三丁目 電話五七八番　八月廿四日より一週間每夜七時開演 ▲『戀か義務か』全三卷

御用心く 水あたり、食傷 暑氣あたりに流行病

胃腸が常に强健でさへあるなれば少し位食べ過ぎたり飲み過ぎたり又は過つて、不良の飲食物や惡い病の黴菌の附着せるものを食したりなごしても大概何の障害も起らずに濟むものである。然るに之こ反對に胃腸が弱つて居れば少しの原因でも消化不良に陷つたり、又は激烈しき中毒症を起したり傳染病に罹りたりして遂に一命にも係る樣になる殊に夏は暑さの爲に胃の筋肉が弛んで働きが鈍くなり身体が倦怠一般に衰弱を來すから此弱り目に附け込んで色々の黴菌が侵入し遂には赤痢やチブス、コレラ等に侵され易い。

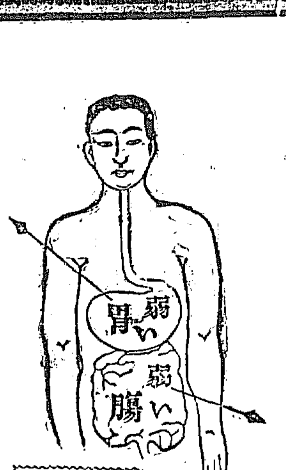
斯の如く夏は一年中で一番胃腸の危險な時である、されば平常胃の弱き人は勿論、健康者も注意して每食後必ずホシ胃腸薬を服用して常に强健なる胃腸を保たれよ

ホシ胃腸薬

適應症 消化不良の時 胸の苦しき時 食慾不進の時 胃腸カタルの時 飲過食過の時 胃擴張の時 腹痛吐瀉の時 溜飮の出る時 胸痞への時 二日醉の時

藥價 廿錢 五十錢 一圓

東京京橋南傳馬町三丁目 星製藥株式會社 電話京橋一七八五・三〇二〇・四一七 振替東京二〇五二二番



京城日報 第五版

……四分ノ及び四匁半の兩品は十八圓七十錢迄…… ▲新品漸高値 ……發現し是を主……の新需要地を獲得の其勢ひ特に…… 增せると同時に滿洲、加奈陀方面…… 喚起し就中北米各地の絹物需要…… ▲各方面の需要…多くして輸出業者は積切期限の切迫せるもの又は日限遲れのものに對して値段の如何を論ぜず買附けると(三)平物二重以外の絶無…運轉困難にて機業は少なからず支障を來し爲めに生產額著るしく減ぜ…の需要家好調……良好となりて自から思惑……喚起し持荷の投資惜み釣上策……可しと觀測せらるゝも猶は内外各……輸出業者共相應の前記文買不足あ……向の不振より相場伸び惱み寧ろ反……比例に低落步調を辿りたるを以て……

個性と國民性(一)

文學博士 吉田熊次氏講演

本日より掲載する一篇は目下京城に於て開催中なる教員夏期講習會の講師として過日來鮮せし帝國大學教授文學博士吉田熊次氏が十九日高等女學校に於いて試みたる講演の要領なり尚同氏は前記講習會に於ける講演を終へ此の程元山教員夏期講習會に赴きたり

國民性に關する問題は近頃に至つて特に注目を惹いた問題の一つとなつて居るが、如何なる研究法に依つて此の問題を解決するかに關しては恐らくは未だ一定した見込が付いて居るまいと思ふそれに就いて自分は試みに『個性』の觀察の仕方に依て『國民性』の問題を解決することは一つの方法ではあるまいかと云ふことに思ひ付いて茲に話をして見ようと思ふそれ故に問題の歸著する處は國民性に就ての事柄であるが、研究の出發點は個性の概念を明かに定めることを先にせねばならぬ、ところが『個性』と云ふことに就いての考へ方も國民性程には漠然としては居らぬと思ふが今日に於いても未だ確定した解決の方法は無い。故に自分の述べる次第でそれだけ話が纏りの無い……困難を感ずる次第である。從つて只此の問題が近頃八釜しく稱へられて居ると云ふこの考へよりして之に就ての卑見を參考迄に申述べようと云ふ考へである。『個性』の概念に就いては種々の見地より種々の説が立られてある、教育上などに於ても個性調査と云ふやうなことが大分實際教育家の中にも行はれて居ること、思ふが實はその『個性とは何だ』と云ふことになると未だ一定した學術上の解釋がある譯では無いと思ふ個性に關する概念の昔の考へ方に依ると略定まつたものがあつたが、近頃實驗心理とか實驗教育とか云ふ側の方になると個性の問題が非常に錯雜して來るさうして個性よりも尚一層漠然として居る所の國民性の概念を穿鑿する手段としての個性の觀念を定めることかと云ふと便宜上先づ古風な個性の解釋から出發して行く方が寧ろ只今の目的に適ふやうに考へられるのである、個性と云ふとに就て古風に考へると通常之を『氣質』の觀念と同じ樣に取扱はれて居る場合が多い、彼の人は何う云ふ個性の人であるかといふことに就て彼の人は何う云ふ氣質の人であると云ふ回答を以て大體滿足して居た此氣質と云ふとに關する議論は今日でも未だ一定して居ないと思ふが、普通心理學上や教育學上にも氣質と云ふ概念そのものが未だ學者に依つて一定して居らぬ。併しながら大體の區別だけは一定して居る、漠然たる氣質に就て誰も疑はないやうに認めて居る所の種類がある。それは即ち通俗的に謂ふ所の氣質の分類であつて之れには四つの種類があると通常云うて居る、自分は試みに四つの種類の氣質と云ふものを先づ大體から眺めて、此の氣質と云ふものゝ所謂國民性に移して四つの國民性があると云ふ風に考へる時は何んなものだらうか、と云ふことを申述べて見ようと思ふのである

滿蒙鑛山價値

▲滿蒙鑛山 鑛山熱の勃興に伴ひ昨年來滿蒙鑛山は各方面より踏査せられたるが今之等の調査を綜合する時は一の斷定的意見を下すに困難ならず即ち滿蒙に於ける各礦山は一般的地質より觀るも内地及び朝鮮に於けるが如くに金屬及び非金屬礦が小部分的に隨處に散在するに非ず極めて大陸的地層より成れる者なれば内地及び朝鮮に於ける如く小鑛山としては殆んど經營の價値ある者なし故に現在のところ金屬礦としては鐵鑛、非金屬としては石炭礦の二者を除き前途有望なる者なし

▲鐵鑛閉鎖主義 石炭と鐵の將來はいふ迄もなく將來國家存在の一大要素たるべきものなるが滿蒙に於ける鐵及び石炭は到底國中に於ても比較的豐富にして彼の鞍山站鐵礦の如き又新邱炭坑の如き前途極めて有望なり支那は元來滿蒙鐵礦を閉鎖主義の下に置かんとするも將來世界的競爭より日支兩國生存問題に最大關係ある鐵礦の閉鎖は永く持續さるべき性質のものに非ざれば支那は歐戰終了前に於て豫め其方針を確定し日支提携の下に諸他の鐵礦をも共調査を進行せしめ速かに戰後競爭の準備を全うせしめざる可らず

▲非金屬礦 其の他滿蒙礦山として世界に冠絶せる者は彼のマグネサイド、滑石、珪石等の非金屬礦にして此等も大陸的地質の關係上世界稀有の礦床を有し彼の大石橋マグネサイドの如きは同地方の全土悉く同礦石の結晶にして歐戰一度收まるの日世界の市場を相手として其の輸出を行ふに足るべき者あり加之ならず滿蒙年金屬礦は化學工業の進步と共に新利用法を講ぜば實に無限の寶庫たるを失はず之を要するに我國礦業家の多くは唯だ資礦の利益及び一時の射利を目的として滿蒙鑛山の根本に重きを置かざるの風ありたるを以て是迄多く失敗に歸せりと某氏は語る

支那の航運業

▲支那に於る航運業は夙に英國最も優勢なる地位を占め居たるが歐洲戰爭勃發以來歐洲各國は何れも戰爭に沒頭し支那に於る事業を顧みるに遑あらず殊に敵國獨墺船舶の如きは何れも之を沒收し英國船舶亦漸次減少し之を棄て日に比較する時は僅に彌弩の末のみ日本は歐洲戰禍に自國に累を及ぼす事尚少なるに乘じ駸々として航運業の發展競爭を爲し一九一八年の第一期(一、二、三月)海關報告に依れば支那最大の貿易港たる上海に於て合計一千六百三十隻二百四十六萬七百六頓にして

▲船隻及噸數 は左の如く日本は其第一位に英之に次ぎ支那第三位にあり而して更に右三ケ月間に上海を中心として航運せる河川用船舶(長江船運)は僅に四百八十二萬八千百九十四噸にして今前記の船隻噸數を國別に依り表示すれば左の如し

▲海外航運

國別	隻數	噸數
日本	六二二	九九五、一七五
英國	四四二	七三九、二三三
支那	三七〇	四六三、二七〇
米國	八八	一二七、一〇〇
和蘭	三五	五〇、九二三
諾威	二三	四四、一三〇
露國	二〇	二一、七二七
丁抹	一四	二四、九五六
佛國	四	一一、〇〇八
瑞典	四	一〇、〇〇四
合計	一六三〇	二四六〇、七〇六

▲内地川航運

國別	隻數	噸數
英國	二五一	四一二、四〇七
日本	一三七	二四九、二三〇
支那	九九	一六六、五六七
計	四八七	八二八、一九四

▲右の表中に於て河川用船舶を見るに英國船最も多數を占め日本之に次ぎ支那九十九隻十六萬六千五百六十七噸にして之亦第三位にあり而して之を昨年末の第四期に比すれば三分の一の減少を示せり其他内河船業に於ける支那船隻は之を他國と比較するに亦其下位にあり思ふに支那經濟の汽船會社は支那政府が之を保護するの責に任ずる能はざるを以て何れも他國の船籍に入り外國の國旗を揚げ外人の勢力を藉りて自衛の方法を圖る者の如し要するに今支那には

▲航運業なし と云ふも過言に非ず强て云へば内河航路に二三要塞を據るはざる會社あるも……として幾何も無し又外國航路と云へば支那には直接遠航する遠洋航路なく貨物の運輸は全く之を他國の船舶に依る民國三年七月即ち歐洲戰爭開始の際は全世界の總噸數四千三百七萬九千百七十七噸なりしも歐洲戰爭以來逐年船舶損失し其數千二百八十四萬四千七百四十三噸に達せり而して此數年以内に在りては新增噸數僅に七百八十八萬六千二百七十五噸にして其增加と損失とを差引かば猶四百九十五萬八千四百六十噸の損失なり本年四月の調査に依れば全世界船舶總噸數は尚三千八百十二萬七百九噸にして本年一月より四月に至る

▲船舶損失は 英國九十萬八千二百八十五噸其の他聯合中立各合計百四十五十二萬三百二十七噸合計百四十二萬八千六百十二噸なり又本年四月中船舶損失額は英國二十二萬七百九噸其の他聯合中立諸國八萬四千三百九十三噸計三十萬五十二噸

◇後庭　石田富造作

本紙定價 壹部金參錢 壹ヶ月七拾五錢(郵稅共) 廣告料金 五號十五字詰一行一圓五拾錢 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 編輯用…… 營業用……

並行線（六十二）

瀧閑村

龍山から降りて來たので、靜子は實家へ運んだ。

十一月に入ると京城は既に多くは行きたく思はぬ身體を遣過ぎに初冬である。空は晴れて爽かな秋日和もあるが、曇つた日や、夜なぞはモウ火が無くては寒い事が多かつた。夕方京城公園の高臺に上つて見ると、彼方此方の朝鮮人部落からは、溫突に焚く焚物の煙が低く罩めて、薄紫の靄とも見られた。

靜子は人通りの少い町を選んで歩行いた。内玄關から上ると、出て來た女中は知らぬ顏の女だつた何だか自分の家でないやうな感じを深くした。母はそれと聞くと直に出て來て、

『よく來ておくれだつた。此方へお出な。』

茶の間に坐つて、挨拶をして庭を見ると、コスモスがなよ〳〵と咲き滿ちてゐた。

『家のコスモスは大變晩いのね』

私の處なぞはモウ枯れかゝりましたよ。』

と靜子は可憐しさうに其處等を眺はした

『さうかね、播き方が少し晩かつたから。』と云ひ乍ら茶を淹れて出し、菓子をも侑めて。

『高山さんもお變りは爲いかね。』

と訊く

『ねえ。』と答へたが、靜子は跡を言ひ淀つた、それは普通の挨拶だらうけれども、高山の此頃の行狀を知つてゐる皆の母の口から斯う云はれると、何と答へてい、か一寸見當が付かなかつたからである。

母は別に意も留めない樣子で、

『さう〳〵お前の所好なお菓子があつたつけ。』

と起つて茶簞笥から吉備團子を出して來て、

『一つお上りな、岡山のお土産に貰つたのだから。』

『有難う、久しぶりね。』と一つ二つ食べ乍ら、自分の嗜好をも忘れずに人になつたものを、まだ子供のやうに思つてくれる母の情を嬉しく思つた。

二人は斯うして暫く向ひ合つて居たが、母から何とも切り出さないので、靜子が口を切つた。

『お母さん御用つて何なの。』

母は靜子の顏を眺めてゐた。

『お前は少し痩せたね。』

靜子はハツと思つて、思はず俯向いた。

『高山の事もお前の事も餘ッ程前から、色々聞いてお父樣も私もよく知つてゐる。お前も定めて辛い事が多からうと思つてゐるけれども、此事ばツかりはさう輕々しく私が云ふ譯にも行かないので、今迄默つてゐたのだよ。』

靜子の痩た肩から襟を見て、

『お父樣はあゝ云ふ氣性だから、彼奴は怪からん奴だと大層お怒りになつて、直にもお前を引取るやうに被仰つたけれど、會社の方の事もあるものだから、其中には自分で眼が覺める時もあるだらうと思つて、今日になつたのだがね……』

靜子の眼には涙が滲んだが、憾さとは無く、

『お母樣にも色々御心配かけて濟みません、けれども高山だつてそんなに私をひどくすると云ふ程でも無し……』

母は屹として

『お前その耳の傍の傷はどうしたのだね。』

『……』靜子は少し色を失つた。

忘機吟社八月例會席上(其二)

園居夏齡　栗原華陽

六月如秋樹竹陰。草花香逆入詩襟。幽居永晝無人訪。唯有蟬聲慰苦吟。

學鷗曰、物外超然、

同　中西古竹

樹眼絡婦網絲懸。離落塵花歪蔓網。遮斷炎塵瓜架影。午雞鳴處犬兒眠。

學鷗曰、寫來細緻、極得田園趣味

同　高井椿堂

綠陰遮斷火雲乳。亭午炎塵侵座處。家在瓜疇豆架中。蓼風拂水起微風。

學鷗曰、涼氣滿紙、

同　大隆 鳩仙

夏日荒園爲大觀。炎塵忽離法雲閑。身心洒脫禪藤榻。不說世間行路難。

學鷗曰、清灑超脫、自是高雅。

輸出入業並に代理業
(本社)釜山府本町四丁目廿五番地
田中善株式會社
(支店)大連市監部通二丁目
(出張員)京城本町二丁目、奉天昭德大街
田中善株式會社代理店
同和棉行
(本店)京城府本町二丁目卅四番地
(支店)奉天城内鍾樓南
(營業要目)絹綿毛麻各種纖維工業品其原料品及雜貨並に特種產物の輸移出入、一般代理業

五段鈴木爲次郎先生著
獨創園碁 一週間速進法
定價金七十錢 送料四錢
京城 大阪屋號 電話二五七三 振替八六四

採用
年齡十五六歲高等小學卒業程度の者二名
採用希望者は履歴書携帶本人來談あれ但し市內に保證人を要す
第一銀行京城支店

婦女界 九月號
廢物利用號
本日出來
廢物利用より原物活用……棚橋絢子
寧ろ廢物の出ぬ工夫に苦心せよ……澤村博士
廢物活用の實例……西川博士
廢物を利用する心得……柳橋龍太
家庭教育と自然の經濟……鳩山春子
醫學的催眠術一斑……糸左近
肺結核全治の實例……野村隆士
虎列刺に罹り九死に一生を得た經驗……古森夫人
低能な兒に病氣だつた長男……西川校長
右の病氣は手術で癒る……
我家に於ける廢物利用の經驗……
夏衣の跡始末……
主婦の讀物
挿絵小說 產聲……大倉桃郎作 石井朋昌畫
家庭小說 世間(續編)……柳川春葉遺作 品々生作
長篇小說 人の罪……小栗風葉
一冊廿錢税一錢 半年税共一圓廿錢 一年同二圓五十錢
東京牛込加賀町一 婦女界社 振替二〇二八三番

▼旅行鞄、柳行李、バスケット▲
▼魔法瓶、信玄袋、空氣枕▲
京城本町二丁目
旅行具專業 岩田鞄店
電話五九四番

"PINE"
愈々書き具合能しとの定評を得たる
萬年筆の眞價はパインを除き他に知るべからず
太平通 京日代理部
特許既願防破裝置附
繰出式萬年筆 金六圓八十錢
インキ止式短軸 金四圓九十錢
インキ止式實用向 金三圓八十錢
パイン學生號 金二圓八十錢
ビジネスペン(事務用) 金一圓九十五錢
不具合又自然破損は交換快諾又は無料修繕

かつけ 尾崎糠精
獨逸ドクトル村井政善先生 命名實驗證明
販賣元 尾崎兒商會
◎全國各藥店にあり

◎當工場は毎日午前六時より午後七時まで溶解を繼續し居るを以て如何に迅速を要するものと雖即時鑄工に取掛り製造御渡し可申候
◎當工場は一日平均三噸の溶解を爲すを以て多數御注文と雖短期間に製造御渡し可申候
◎當工場製造品は常に賞賛を得來り候に付御實檢の上御用命希上候
海陸諸器械土木建築
鑄物一式並ニ洗鐵
格別廉價販賣
京城龍山京町十一番地
中桐鑄工所
電話長五二四番

殖產銀行株
高價買受申候
(一口千株以上にても相談に應じ申候)
公債株式現物賣買
京城櫻井町一丁目
新田耕市商店
電話長一五七〇 一八八二番

急告!!冬物見本發行に就て
嶄新なる冬物見本は近々第一回を發行可致候につき御入用の向は發行部數に制限あり至急御申越を乞ふ
羅紗商
株式會社 武神商店福岡支店
福岡市博多中間町
電話長一九七〇 振替福岡四〇六番 電信略號(〇エ)又は(〇)

御注意
但し見本御申越の方は洋服業者に限る
小倉市鳥町三丁目
株式會社 武神商店小倉出張所

▲投書發表後一週間以内に到着…… ▲但何書何號と明記に限る ▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

◇我が大谷大將を總司令官に推戴

聯合軍第一回公報に曰く

戰線代表者は滿場一致大谷司令官を聯合軍總司令官に推戴せり大谷司令官の挨拶に曰く

大谷は日本 天皇陛下より軍司令の勅命を請け今又聯合軍總司令に推さる吾人の目的は露國の救濟並に獨墺の勢力驅逐に在り其任は重し然れ共武威赫々たる各國軍は速に其目的を達するを得可し(浦鹽特電)

◇墺國崩壞の機

熟せるか—チェック族の忍耐

プラーグ(墺匈國内ボヘミヤ盆地の中心にあり)の一有力新聞は報じて曰く『墺國は今や崩壞の機熟せるも今崩壞せば獨逸の機關銃は恐らく墺國を殘けん故にチェック族は尚數月の忍耐を要す』と(ロイテル電報)

◇西國の對獨通告

國交未だ斷絶せず

西班牙内務大臣は發表して曰く、政府は獨逸に對し若し今後更に西班牙汽船を擊沈せば西班牙内に抑留せる獨逸汽船を押收して是れを代用す可き旨通告せりと尚獨逸との國交は未だ絶たずと言明せり(合同信電報)

◇中華貿易會社條例發表

金融條令に關係する中華貿易會社條令十八條は大總統の批准を得て二十二日發表の筈にて内容は資本金五百萬圓、株數五千等にして支那は四國銀行團の抗議を何等顧慮せざる事右により明白となれり(北京特電)

◇本野子病狀

本野前外相の病狀は一時輕快なりしも二十二日午後に至り發熱三十八度五分に上り食慾甚だ振るはずと傳へらる(東京特電)

◇市瀨少將逝去

善通寺步兵第二十二旅團長市瀨敬三郎少將は豫て病氣中の處二十一日逝去せり尚ほ葬儀は二十三日同地にて執行さる(大阪特電)

◇鐵山總長南行

關東都督府外事總長鐵山長治郎氏は廿三日午後六時半發列車にて安東縣經過內地に向へり(安東特電)

◇長春と外米

長春にては一兩日中に外米約五千石廻着の豫定にて右は一升二十一錢にて賣出さる可しと(長春特電)

◇釜山廻著米

釜山にては二十三日廻著米ありたるも下値にて買註文あり商內出來ず(釜山特電)

○潛水艇と動力

專門委員設置

我海軍にては歐洲大戰の實驗に鑑み潛水艇の建造に全力を注ぎ既定計畫に依る十八隻の外大正六年度に於て更に四十八隻を追加し大正十二年度迄に合計

▲六十六隻を 建造する事と爲り居れるが潛水艇の動力機關及び二次電池(蓄電池)は其製作頗る困難にして茲二三年前までは到底外國製に及ばざるの狀態にありしが爾來當局に於て苦心研究の結果最近漸く外國製に匹敵すべき程度のものを製作し得るに至れるが然も外國に於ける此の種機關の進步發達は駸々として殆ど底止せざる狀況にあるを以て當局に於ても之れが研究に絶大の努力を拂ひつゝあり而して一方水中動力たる二次電池(蓄電池)に就ては目下横須賀工廠造兵部に於て專ら之れが製作に力を注ぎつゝあるが其製造能力は到底我海軍の需要を充足するに至らず依て民間に於ける此の種製造會社に對し其製作を註文すると同時に種々の

▲保護獎勵を 加へ居れるも民間既設會社の製造能力は尚頗る幼稚にして前記計畫に係る潛水艇全部の需要を充足するは容易の業にあらず殊に我海軍に於ける二次電池(蓄電池)需要は啻に潛水艇のみならず無線電信用大砲發火用及び艦內通信用として戰艦以下各艦艇に多額需要あるを以て海軍省に於ても兵器獨立の見地より特に專門委員を設置し之が研究調査を行ふと同時に極力之が製作獎勵に努め居れり由來我海軍にて建造しつゝある潛水艇は排水量千噸內外のものなるも歐洲大戰の實驗は益々其排水量を增大せんとする傾向あり現に獨逸に於ては二千噸內外の航洋大型艇を建造せるの現勢にあれば將來潛水艇の動力機關は注目すべき問題たるべく之が當局者は民間に於ける此種事業の振興に關し種々考慮しつゝあり(東京)

○滿洲貿易復活

歐洲の混亂狀態に陷りたると共に [illegible] りたるが最近浦鹽及び東部西伯利亞の秩序恢復と我國の出兵其他にて漸次回復され商取引關係も漸く順調 [illegible]

▲最近海運界 の狀況は次第に不振に赴くの傾向あり即ち昨年度の如きは輸入貿易盛んなりし爲め各 [illegible] 肥料紙等の禁出等相次いで起り加ふるに英米を始め其他諸國に於ける物價公定の影響を受け動もすれ [illegible] 雜貨の出廻り相當あるを以て近時雜穀澱粉等の出廻り不良なるに拘らず積荷に困難を感ずる程の事な [illegible] 米の禁止等に依り最近に於ては戰貨漸次減少し毎航の積荷も從來の如く居ながらにして蒐集する能は [illegible] 米國は其輸入貨物運賃率を制限せんとする意嚮なるが如く實現を見る場合は同航路關係者の打擊更に [illegible] 右の如く海運界は獨り近海航路のみならず

▲世界各航路 も亦一時の盛況時 [illegible] 易の不振頗々として入貨的に制限を加へたるもの綜合して茲に至りたるにはあらざるか此傾向に [illegible]

大阪より

▲米棉高の原因 引續き昂騰せる鼻突然四圓安を入れたる理由は既報の如く其後一圓方引返し更に九日大引一圓七十錢高十日大引三圓五十錢高即ち總計七圓二十二錢方差引三圓二十錢昂騰せるは産地降雨なく作柄悲觀と歐洲戰聯合軍の有利なるに基因するものゝ如く猶先物一層の强調を帶び居れりと

▲綿布近況 綿絲綿布は脣齒輔車の關係にありと雖も其高低は穴勝相伴なふべきものにあらず然れども近時綿高及び工賃消耗品其他需要增加は昂騰の原因を具備するが故に必然の數として綿布も强含みを稱へ、昨年最暴騰時代より去る僅に二十錢位なれば此際綿絲が一派の唱ふる五百圓臺ともならば石炭價格の騰貴等相俟つて一層の高調を呈するに至らんも米價狂騰生活難の聲漸く高からんとすれば此際內地向製造は先高見越惑も船腹關係上是れ亦大なる注意を要す

▲藥品强含 一時保合なりし藥品殊に工業藥品中松脂は南米に對し輸出頻繁なれば價格も十九圓見當となり苛性も品拂底にて十九圓見當を稱ふるに至り一般强調を呈せり然し取引活況にあらずして唯輸送困難の爲め市場に入荷薄を見越しての强氣なりと

▲銑鐵七百圓臺 需要期に入りて色めき來れる製鐵所の生産高も先約口に吸收され外國品は輸入不可能にて賣物皆無なるより關西市場は七百圓臺を劃る或は近かる可しと豫想され更に天井知らずの昂騰を現はす可き勢ひなるが目下輪西漢陽釜石各一號銑は五百七十圓見當にて釜石木炭一號六百圓二號五百九十圓再製レリンダー銑釜石再製各六百七十圓を唱へ居れる有樣なり

▲晒粉製造縮少 時局勃發後一般工業藥品暴騰著るしき結果一昨年より昨年にかけて我國に於ける晒粉製造事業は既報工場の擴張乃至新設せらるゝものあり約五割の製産增加を見るに至りたるが新工場の竣成と共に製産量の安價なる電解晒粉製造の爲め舊式晒粉製造業者は壓倒せられ折角擴張したる製造高を減少なさゞるを得ざる事となり昨年下半期より上半期にかけて舊式晒粉製造會社は戰前の製産高に縮少するに至りたるが最近に於て電解晒粉製造會社は價格昂騰より苛性曹達の製造に勢力集中の結果は一層晒粉の製産高の增加を來したる爲舊式晒粉製造會社は一層の困憊に瀕し居れりと

▲鹽剝奔騰せん 燐寸界不況なりし爲め一時氣迷ひ加減なりし鹽酸加里は支那臺灣方面に對する輸出燐寸著るしく活況を呈し斯業頗る繁忙の期に入りたると例の出兵問題等の爲め思惑筋の買煽りもあれば該品は今後那邊にまで奔騰するか豫め測る能はず

▲燐寸軸木難 燐寸軸木として北海道及びシベリヤ方面より大部分供給を受けつゝありたるも北海道の産木は濫伐によりて品薄となりたれば現在はシベリヤ産に依賴せるも該地は動亂の爲伐木搬出等に多大の支障あるべく故に燐寸界は藥品高と軸木難とに苦しむなるべしと(大阪支局)

○電信係員養成

本年は約二百名

電報の遲延は同線の不足電報發送者の激增等主要の原因なれど從事員の不足も亦一理由に付遞信局にては從來一年四五十人より百人未滿の養成に過ぎざりし電信技術員を本年より內地人鮮人合計二百人內外の養成をなす事となり現に遞信局內に於て養成を受けつゝある數は百四十人の多きに上り來る十月初旬よりは更に新生の養成を開始すべしと

○朝鮮と簡易生命保險(五)

事業の發達と强制貯金(上)

於是乎歐米先進國に於ては是等失職者を救濟するの目的を以て壯年時に於て相當の

▲强制的貯蓄 を爲さしめ或年齡に到達せば失職するも生活上何等支障なき方法として年々或額を給付する年金制度あり或は又職工及び工場主に强制的に掛金を爲さしめ政府又其幾部分を負擔して是等職工の晩年をして安易に生活せしめんとする勞働保險の制度あり要するに孰れも其直接の目的としては細民救濟の策に外ならずとするも其の間接に至りては他に多大なる目的の存在することを認めざるべからず抑も治國の要諦は國民をして生活の安固を得せしむるにあり即ち國民をして

▲衣食足り 安易に處世し得ることは或は一の理想に過ぎざるべきも政治の大本としては此理想を實現することを目標とせざるべからず、而して此努力は漸次人類の共同生活上に於ける罪惡を減少し之に替ふるに勤勉なる國民を得依て以て國家の安寧秩序を維持し得べし故に苟くも此の目的を具備する制度は其の

▲年金の制度 たると將又勞働保險の制度たるとを問はず其の總てを採用せざるべからざるも現今吾國に於ける各種の事情は未だ右諸制度の施設を容れざるを以て此制度に稍彷彿せる簡易生命保險及び郵便貯金を利用して壯年時に於ける勞働者に以上の結果を徹底せしめ以て勸誘獎勵し一は社會組織の缺陷を補ひ一は細民救濟より間接に馴致する國家の安泰を圖ること肝要にあらざる乎今試みに朝鮮人戶口總數の增加狀況と工業從事者の戶口增加の狀況に就て見るに大正二年中に於ける戶口の增加は前年に比し二分七厘なりしに同年中工業者戶口の增加は前年に比し一割一分を示し更に三年後の大正五年にありては戶口の增加は前年に比し一分五厘の增加なるに同年中工業者の戶口は六割九分と云ふ如き

▲著しき增加 を示せり而して此狀態は追年工業の發達に伴なひ益々多きを加ふべきを以て現に朝鮮は農業國たるの故を以て漫に之が用意を怠るべからざるなり(終り)

○支那絹布と小包

近來京城の支那商店にて上海方面より仕入るゝ支那絹布類は每週二回長崎上海間定期航路の郵船に搭載する小包郵便に依り輸入しつゝあるを以て京城郵便局に到著するもの非常に多く一回一個一貫五百匁の小包六百個以上に達し金額に積り一週八萬圓餘に上り一箇月の京城貿易支那絹布のみにて三十五萬圓內外に達するの盛況を示せるが斯くの如き事は京城貿易界に於て未だ嘗て見ざる現象なり而して每週二回は必ず定期に到著すべきを以て其都度局內は右の小包を以て立錐の餘地無き狀況なるが右は從來支那人は普通絹布の輸入は船積となし居りしも近時特に支那方面の船腹不足と航行の不定期よりする遲著の爲め取引上損害を蒙る虞あり船積は却つて諸費用嵩み種々の不利益あり遂に遲達の難貿なる小包郵便に依るに至りし物也と

○西伯利亞支那人數

露國は西伯利に於ける自國の移民事業の失敗に鑑みたるに懲りしもの歟將た又政治上の將來を顧慮せしものか遂に外國移民の通路を閉塞し今日にては支那移民の隨意通入を許さざるも往年蒙古方面の國境を超ねて西方貝加爾地方に入り同地に散在せる支那人は約八萬を算し一方交通比較的容易なる東方の一間黑龍江地方に在留する支那人數は更に多きが唯統計の確實なる者なく其實數を知り難きも千九百九年の露國政府の統計に據るに東部西伯利の支那人は二十八萬を算し沿鹽の如きは三萬餘を計上したる有樣なれば千九百十四年支那政府が推定發表したる全西伯利在留支那人數三十七萬は當らずと雖も遠からざるべし現今支那人の活躍せる沿海州黑龍州の兩州に於いては其の全人口數約八十六萬人中約十九萬の露國移民に對し支那移民は實に廿八萬の多數を示せるのみならず彼等は相團結し其の勢力を以て土民を壓倒し運搬業道路工事の如き力作勞働は主として彼等の事業となれり同方面の移民は山東人東三省人多しと

○京畿道秋蠶狀況

京畿道管內に於ける秋蠶は蠶種掃立總數一萬三千餘枚にして前年度より四千枚の增加を示せるが掃立以來生育狀況一般に良好にして目下上簇中に屬するもの大部分を占め居れり孵繭の共同販賣は九月十日より十二三日頃に亘り舉行する豫定なり尚少數なれども晚秋蠶は目下掃立中なりと

○夏繭共同販賣了

先般來施行中なりし京城夏蠶繭共同販賣は二十三日を以て終了せり

◎咸南沿岸漁況

昨今咸南沿岸漁業は夏季漁を終り秋漁期に入らんとする所謂端境期なるを以て甚だ寂寥の狀を呈し鰤、小鯖等の少量なる水揚げをなしつゝあるが西湖なる水産傳習所は曩に遮湖方面に出漁し二百餘圓の水揚げをなし目下西湖津海に於て鰯延繩漁を實習し傍ら漁網の修繕等をなしつゝあるが近く鰈流網漁の實習に著手すべしと

○移民表彰期

東拓支店にては既報の如く模範移民の表彰をなす事に決定したるがその時期は各出張所共小作人會を開催する如き機會を選む事となるべく未だ決定せざるも商賞品は犢一頭を贈る事となれり

○鮮人の施米

麻浦洞居住金鎮燮氏は米價昂騰により生計困難なる上十五日の出水にて罹災したる同洞及び桃花洞居住民に對し自宅にての施米を希望し該當者の調査を當局に依賴し來りたる結果鮮人三百戸に對し一戸白米五升粟五升宛合計卅石(約八百五圓)を施米する事となれりと

○院線小荷物扱規定

京城管理局にては來る九月一日以降鐵道院連絡小荷物扱ひの中易損品又は高價品として取扱ふ可き品目を規定したるが其主なるものは紙細工、漆器、造花、硝子器、帽子、輕き家具器械類、植木、長持、寶笥、打綿、飾物、椅子、衝立、柳行李、茶棚等なるが易損品にして荷主に於て毀損に對し自他の損害を負擔する旨聲明したるものは之を通常小荷物として取扱ふ事を得可しと

○鐵道傭人住宅料

滿鐵京城管理局に於ては內地人傭人の住宅料問題に就き考究中なりしが今回愈々決定を見るに至りたり支給方法は同局從來の雇員外泊手當支給の例に倣ひ一級地五圓二級地四圓三級地三圓の區別を以て八月分より之を支給することゝなれり

○開城水害地實查

開城市街が年々兩城川の水害を被りは本年も過般四十餘戸浸水したる事は既報せし通りなるが京畿道廳に於ても根本的治水の必要を認め廿二日立花技師を同地に派遣したれば同技師は技手一人を隨へて午前の急行列車にて出張郡守警察署長面長面相談役組合會議員其他有志者數名と共に實地に就き踏査を爲し治水上の施設に就き廿餘年前來の實狀を聞き取り親しく治水設計に著手し廿三日より兩城川の測量に著手せらるゝ趣きなれば地方有志は總代を選び同夜同技師を旅館に訪問し市民の希望と治水上の意見を陳述する筈なり(開城通信)

人事消息

▲倉知鐵吉氏(上院議員) 廿三日夜入京朝鮮ホテルへ
▲河村信一氏(第八高校敎授) 同上
▲金原信雄氏(大倉組店員) 同天眞樓へ
▲鈴木 北道長官 同旧城舘へ
▲山中道雄氏(山中商會主) 同上
▲中野多三郎氏(大邱府尹) 同不知火へ
▲藤川平北道長官 廿三日退京
▲堤富三氏(鮮銀司事) 廿二日退京
▲水谷海軍少將(平壤鑛業所長) 廿四日朝退京の筈

鳥瞰雜俎

日本の富豪や成金は戰時利得稅額を定めるのに不精無精で知れて居ても大概目分量で定めて居るが▲米國の富豪ロックフエラー君などは今年納める所得稅は無く勿れ七千六百萬圓▲實際正確な收入は何の位あるか勘定が出來ぬので好い加減に其の目分量で稅額を定めて居る▲同じ目分量でも進んで出すのと不可々々ながらの目分量とは大分性質が違うね▲日本にも米人の御厄介になつて初めて飛行郵便をやることか▲其れを父た日本の飛行家がイヤ日本では日本人がやるのだと大に力んで居るが▲其れは何うでも飛行郵便なんて氣の利いたものは兎に角今度が日本に初めての記錄を造るものである▲と珍らしがつて居ると英國のエーロプレイン誌の記者グレー君は最う斯う云ふ程度迄も立てゝ居る▲倫敦發英帝國各地行の空中航路時間はシドニー五日香港三日カルカッタ二日半▲古倫坡二日半オークランド五日バグダット一日半ケープタウン三日半オッタワ二日カイロ一日晚香坡三日ウィニペッグ二日半だとサ▲お恥かしい事だが日本の飛行家で關釜間でさへ飛んだ者は未だにない情ない氣になる▲飛行家と云へば昨年まで新市市長であつたミッチエル君は此間飛行機に乘り五百呎の上空から墜落して死んだ▲君が飛行機に乘つたのは道樂ではない米國軍人として出征すべく志願して飛行隊に入つて▲本年三月以來宙返り横轉逆轉木葉落し旋回飛行インメルマン飛行等に及第し其後專ら戰鬪飛行術の練習中に横死を遂げたのである▲葬式には我石井大使も參列したが墜落飛行家は日本にも澤山あるが之れ丈けは敢て耻かしくはないワイ

何故 下痢腹痛の時

柏村博士の……

ヘルプが一番安全?

▼夏の下痢病▲

は多く不消化と黴菌作用に起因するに、從來の藥劑は極めて單に收斂劑ばかりで、その生命たる消化と黴菌の力がない。斯る藥劑は一時下痢を止めても、後には必ず身体に故障を來す。

ヘルプは驚くべき藥効作用を有す!!

柏村博士のヘルプは、他藥の缺點を考慮配劑した最も進步せる理想的下痢止腸胃藥なれば、如何に重症の下痢病と雖ども其の特有する、消化と殺菌の作用が忽ち病源に遡り、根本的治療を施すため、直に腸胃が健全に快復され、腸の機能を整ふると共に吸收力を增進して、立派な强壯体となる事が出來る。

此の如き事實は、夏季下痢病流行の際、屢々耳にする所なれば、何人も此際、現代唯一の腸胃藥たるヘルプに信賴して、其の快癒を計るが一番安全である。

夏季は何人も腸胃に故障が

起り易く、又恐るべき惡疫の流行する時なれば、假令僅少の故障たりとも放任せず、此際一刻も早く、絶大の偉力あるヘルプを常備して、專ら腸胃の健全を計り置くは、自衞上目下の最大急務である。

ヘルプの作用

●食過●食傷●水あたり●寢冷●時候あたり●冷腹●消化不良等より起る下痢腹痛▲吐瀉▲澁腹▲腹瓦斯止を▲腸加答兒▲胃加答兒を治す

殺菌力絶大なる下痢止腸胃藥

定價 二十錢 三十錢 旅行用ポケツト型五十錢 徳用壹圓 壹圓半

ヘルプの特長 健胃、整腸、消化、殺菌、鎭痛、收斂防腐等の諸作用を完備せる現代理想の腸胃藥

東京日本橋區本銀町 本舖 津村敬天堂 電話本局一〇九七番 振替東京八六四番

●全國各藥店にあり

[illegible]の手を經て輸入されたる綿布類及び絹製洋服地類等は殆んど一時輸入杜絶し頗る困難を極め居[illegible]の商談復活し來り之等の註文頗る[illegible]の狀況なり[illegible]

◎各航路不振

[illegible]よりの註取り陳情頻りなりしが其後貿易狀態は漸次變調を呈し本年度に入りては輸出貿易として[illegible]り逆つて昨今にては各航路殆んど閑散狀態に向ふ外なき有樣なり更に之れを各別に見んか歐洲航路は[illegible]と大同小異にある外他は一般に前日の如き盛況を見る能はず先づ米航に就て見るに同國輸入禁止本邦[illegible]れたる[illegible]昨今にては四十五乃至五十五弗の氣配となれり而して最近の情報に依れば[illegible]に依り同地向けの貨物漸く減少し爲めに郵船商船共に各一隻宛を引上ぐるの已むなき狀態となれり[illegible]府が各必要に迫られ[illegible]理令の發布輸出入禁止、公定相場制定に原因せるに依るべく輸出貿易[illegible]を保ち居る[illegible]餘裕あるを表明すべきなり(東京)

◎威風堂々哈爾賓へ

更に○○司令部到着

在留邦人熱狂して歡迎す

停車場前の閲兵式……◇

數日來晝夜出征の皇軍を送迎せる哈爾賓は茲に又新に○軍○○司令部を迎ふる事となり駐屯軍○○○隊は○○日午後○時○○長○○○○○○指揮の下に威風堂々として著哈す、我官民の盛大なる歡迎を受け直に停車場前廣場に於て閲兵式を行ひて後郊外の露國兵營に入れり(哈爾賓特電)

◎アンナは斷して破獄した

恐ろしいその夜の追憶

『今から思へば彼れも是も皆苦笑の種です』と

アンナの夫横田氏は語る

嫌疑を受けし女の身を以てイルクツク監獄を脱出した女丈夫横田アンナ(二四)が夫横田茂氏(三〇)と共に朝鮮通過内地に向つた事は夕刊所報の通りであるがアンナ夫人は背い些か思はせる閲かな曖昧な金髪を編んだのをくる〳〵と巻附けて白のボンチットには薔薇の造花を飾り黒い紗を被つてすみれ色の上衣に横の スカートも短く踵の高い靴でコツ〳〵と步調の上を刻む姿は美しき巾に凛乎とした壯烈美を持つてゐる、アイシャツも上着も黒、黒いづくめの夫は長靴を穿いたコサックの騎士らしい面影のある横田氏は一種あるアクセントで快活に然も無邪氣な調子で語る

私は明治四十年初めてチタ市に參つて露國人の經營してゐる商店の番頭をしてゐました。彼の女(アンナのこと)と

◇**結婚したの** は四年前で其の時私は雑貨商をしてゐました。彼の女には兩親が無かつたからチタ市の鐵道局に勤めてゐる或る人に育てられました。二人は結婚してから幸福に暮してゐましたが私は其の内に敵の機密を探る重大な任務を負はされる事になり此の事をアンナに相談することさう云ふ事なら妾が露國婦人であるのが恰度幸ひ共々に過激派の内密を探らうと旅立ち私は莫斯科から高架索の方に行つたりなどしました其の内に彼の女は白衛軍の將校達と一緒に軍事探偵の

◇**嫌疑で捕れ** てイルクツク監獄に投獄される事になりました。其時阿部、上納、村岡、南の四氏も同監獄の第六房に囚はれてゐました其監獄の典獄初め幹部は凡て獨墺の俘虜で看守丈けが過激派兵を使つてゐる丈けで、其看守は銃は愚か鞭さへも持つて居ませんでした。然し白衛軍の將校は一人〳〵夜の十二時から四時の間に引出されて何處かに連れて行かれる許りで戻つて來ぬやうになりました。そこでアンナは非常に怪訝に思つて或る日窃と看守の一人を招んで『私達は殺されるのか』と訊くと『さうだ』と答へた。そこでアンナは

◇**早速の氣轉** の監獄 暗號で隣房に知らせる一方、綿端に紙片を附けて二階の白衛軍の將校に知らせてやりました。監獄に居て殺される程なら一思ひに破獄をやらうと云ふ密談が成立し内外呼應の打合せも秘密に行はれました愈々六月十日の夜の九時から翌日の午前四時に掛けて極めて大規模な破獄が行はれました。其の夜アンナは自分の入つてゐる監房が打壞されると飛鳥の如く飛び出して白衛軍の將校の許に馳て何卒四人の日本人を助けて下さいと哀願したが其將校は『あの人達は第一

◇**衰弱しても居るし** 土地不案內の上に人種が違ふし、人目に著き易いから逃げても直ぐ囚はるだらう』と云つて其の儘にして了ひました。其の內逃走途中を敵の爲めに捕はれて銃殺されたものも澤山ありましたが。彼の女は辛い目に遭ひながらも一個月後にチタに逃れて來て私と再會することが出來ました。私は幸福な事には敵に捕はれはしなかつたが家宅搜索は何度となく受けて隨分と辛い目に遭ひました今から思へば皆苦笑の種です

□外、鮮米獻上

‖聖上の御軫念は外國米一切の事を聽し召さる‖

聖上の御軫念は外國米朝鮮米の廉賣狀況に迄も及ばせ給ひつれば侍從長は一切の事を奏上し奉れり又東京府にては仰せ畏みて二十二日外、鮮米を宮內省に獻上せるに侍從長は恐れ多くも是れを叡覽に供し奉れり(東京特電)

◎鈴木燒討の首魁捕へらる

北筋にては神戸騷擾の首魁にして鈴木商店に放火せし神戸荒田町一目仲仕大東伊藏(五六)を取押へたり(神戸電話)

◎親殺し(上)

愈々公判に廻つた 税關吏貝江弘

彼は斯うして罪を犯した

◇**生活難**◇ 元仁川税關監吏で開城郡內陵税關監視所詰であつた長崎縣下縣郡嚴原町字田淵生れの貝江弘(三七)が本年三月二十七日午後二時頃開城高麗町彩霞洞鐵斧の住宅で非倫常にも妻の實父なる貝江廣運(五七)を銃殺したる事件は豫て京城地方法院の豫審に於て取調中であつたが此の程取調べが終結し殺人罪と決定して同法院の合議公判に附せられた今弘が敢行したる慘劇の經過並に原因等を詳記せんに被告弘は郷里なる縣立對馬

▽**中學校を優等** で卒業後大正三年十二月頃渡鮮して仁川税關監吏を拜命して仁川に在勤中附近に居住中の同縣人なる廣運方に出入し居る內大正四年三月末廣運の長女春(三一)と婚約が成立し同家に入婿となつて同棲したのであるが元來弘は實兄なる同姓馬島の養子になるべき先約があつたので妻の春と共に馬島の家に入る考へであつたのを廣運の懇請する儘に遂に春の婿養子として同年九月中入籍の手續きを濟ましたのである其後弘は

▽**仁川本關から** 開城高陵税關監視所詰めとして轉勤を命ぜられたので先づ妻のみを伴れて赴任したが間もなく夫婦の間には長男昌男(三)も生れ平和な家庭を結んでゐた、然るに養父廣運は仁川で職業を失ひ生活難に陷つたので弘は貝江一家を自分の手許に呼び寄せることゝなり大正五年十二月二十六日から養父廣運と妻の次女茱萸(一三)の三名は弘の家に同居することゝなつた、併し弘は當時の月收僅か三十九圓五十錢で自分を加へた

▽**一家六名を支** へて行には餘りに貧弱であつた爲に漸次生活難に迫はれ一家を春貧りて立つてゐる同人の胸には絶えず不安の雲が往來してゐたそれで養父が何の稼ぎもせず徒食してゐるのを內々不平に思ひ總に自暴酒を呷つて鬱を晴らし時にはその日頃酒が嵩じて醉狂をさへ起す事も尠くなかつた所が廣運も妻の春も此醉狂に對しては何等の理解も同情も持たず不快の態度で弘に當り散らしてゐたから家庭は漸次に冷やかな水臭いものとなつて親子喧嘩をすることも珍らしくなくなつた。

◎支那兵我兵を衝く

——五十名程にて我一兵を著劍して取捲き

銃劍にて面部腕等に重傷を負はす

二十三日朝長春を發し北行せる支那兵が同朝八時寬城子驛なる我滿鐵附屬地にて監視人と爭論し居れるを共榮居合せし我兵の一人是を仲裁せしに五十名程の支那兵著劍して取捲き機關銃數門を配置し威嚇したる上銃劍にて我兵の面部腕等に重傷を負はせし爲め長春より我憲兵及び警官同地に急行し目下取調中にて重傷せし右兵士は滿鐵病院にて治療中なり(長春特電)

◎相思の男女天草灘に投身か

▼女は朝鮮から歸つて

熊本縣天草郡志柿村當時三井物產長崎支店員にて北松浦郡佐々村出身荒木愛(二二)は長崎商業學校在學中同市磨屋町米酒商山口虎三郎の三女にて當時長崎高等女學生ノヱ子(一八)と相思の仲となり逢瀬を樂み居たる事ありしにノヱ子は親の勸め踏み難く朝鮮なる鐵道上等兵佐々木暇一の妻となりて渡鮮し其後心無き月日を送り居たりしが去る五月長崎の實家に歸り此九月には再び渡鮮する筈なりしにノヱ子荒木の兩人は突然去十九日より同時に行方不明となれるより或は天草灘にて心中せしにあらざるやとの噂あり(長崎電報)

◎兩円の出水

京都府下丹後、丹波地方は二十日來豪雨にて福知山、新舞鶴、舞鶴町等浸水せり(京都電報)

◎細民の聲

廉賣に就ての希望と不平

京城救濟會にて細民の救濟施米及び白米の廉賣を開始してより既に週日、其の成績亦極めて良好にして施米は日に米穀約四十石を超ゆ廉賣は每日拔米、石拔米約二百石乃至三百石を買捌き居り人員に於ては既に六萬餘人に達せんとし救濟會の趣旨亦刻々に徹し來れるは悅ぶべき現象なるも各方面の聲を聞くに尙は多少の希望乃至不平あり

◇**五升劵の復活を望む**

即ち五升廉賣劵の復活を希望すとなすもの其第一なり蓋し細民の多くは日々長時間の勞役又は事務に服し夕景に及んで歸路に著くもの又は其の家庭に在りても各々生活に直接關係ある仕事を有するもののみにて比較的時間に餘裕を有せざる全く適進せる生活狀態を持續しつゝあるもの其の大部分を占め居る事情を俟たざるなり即ち廉賣所に至れば群集殺到せる結果短くとも二時間三時間乃至殆んど終日を費すも尙ほ希望の廉賣米を手にする事能はざるが如き結果を來たし廉賣米を購求せんと欲せば全く一日間の仕事を休まざるべからざる事となる而かも二升を限度とするに於ては殆んど每日の仕事を缺がずんば廉賣を受くる能はず仕事を休めば給料を支給されず孰れにしても是れ以上の今の物價に於て生活する能はず救濟・何等其の意味を爲さざる事に歸著すべくなり由つて五升劵若しくは其れ以上の廉賣劵を發行し以つて四五日乃至一週日分の食糧に充て每日多大の貴重なる時間を廉賣に奪ふことなき樣當事者側に於て取計はれ度しと言ふにあり

◇**販賣時間を變更せよ**

第二は細民日給者の聲にして日給者は一日の勤務に服し終めて幾何かの賃金を得るものにして其の日の賃金を以つて翌日の米代其他を支辨すと云ふが如き階級に在りては日今の如き廉賣時間にては到底其の目的を達する能はずと云ふに在り蓋し彼等日給者の多くは午後六時內外に漸く歸路に著くものにして此の時は既に其の日の廉賣時間を經過すること數時にして廉賣米を手にすること能はず止むを得ず翌日の米は市中の米商より高價なる米を購はざるべからざる破目に陷り斯くて每日々々を過ぜば彼等は何等救濟會の恩典に浴すること能はず故に已しく不平あるものゝ如し依つて廉賣の時間を或は朝夕二回の廉賣を斷行せられむことを望むと云ふものなりと市非道の某氏は語れり

◎一圓新紙幣

小型で機械刷

發行は來年度?

大藏省では新一圓紙幣發行の議が起つて近く閣案其他の準備に著手する事となつた同時に舊一圓紙幣は手刷の爲め印刷能力が甚だ不足なので新紙幣は機械印刷に改め且十圓、五圓の新紙幣に比較して舊一圓紙幣は餘りに型が大き過ぎると云ふ處から新五圓紙幣より稍小さい型に縮められる筈である圖案は不日閣議に附され決定の豫定で『まだ日本銀行にも通知しない程だから……』と當局は云つて居るから是以上は明記する由も無いが小型の機械刷に改まることだけは明かな事實で發行は多分來年度であらうと(東京)

◎未だ油斷がならぬ

大雨の後は危い

臨時に大掃除を施行

空前の猖獗を極めた京城府內のパラチブスは尙その流行季節であるにも係はらず昨今早くも終熄の狀態となつた是について當局は『全く衛生思想の普及と一般の注意力が緊張して極力防疫に從つた爲で全く經驗上類なき成績であつた』と語つてゐるが然し『まだ〳〵油斷はならぬ殘暑酷暇くが如く赤痢コレラは寧ろ是から流行季に入るのであれば更に一層の注意と警戒とを要する殊に十五日來の豪雨には多數の浸水家屋を出し、左程でないのまでも下水溝を汚され又は井水に汚水を流し込まれた所も却々尠くない、汚泥の危險——塵芥の危險それに又湿潤な處より受ける人體の害毒は却々甚だしいもので所謂『水のあとの病氣』と云はれてゐる位危險であるから當局では目下の大清潔法以外に近く臨時に消毒的清潔法を施行して特に雨後の消毒を行ふ筈である』と

△**當局者は語る**

『全市を五區に分ち五日間に府廳と協力し尙町洞總代の援助を受けて施行したい日割は追つて發表するがこの際の消毒藥品は主として石灰でこれは前もつて各自に購入して置かれたい』

◎生一師來鮮

關西に於ける觀世流諸曲の名家なる生一左兵衛師は能樂の一座を組織して催能の爲め滿鮮を巡業すべき筈なりしが座員の都合により囃子方のみを率ゐて渡滿目下大連に於いて演技中なるが大連よりの歸途來月一日來鮮京城に於て番囃子、素謡會を催すべく其の際觀世流仕舞獨吟等もあるべしといふ

□米國の女軍隊

小銃を肩に調練する

最近米國から歸來した某氏の話し『米國西海岸の諸市では物價が昨年よりも三倍になつて居た、日本に比べて安價なのは肉類と牛乳で其他は皆遙に高い、シアトル市の郊外を散步して眼についたのは女子軍隊で六十餘名の婦人連が看護婦服のやうなユニフォームに麥稈帽を冠り小銃を肩にして男の士官に指揮されながら頻りに調練をして居た、何でも女子大學の生徒だと云ふ話であつた』

◎京城神社臨時祭

(平和克復、出征軍隊健全祈願)全國神職會に於ては今回の西伯利出兵を機とし全國各神社界つて平和克復國威顯揚出征軍隊健全祈願の祭典を行ふことを決議したるに依り當地京城神社に於ても本月二十五日午前十時より臨時祭典を執行し併せて京城在住の應召軍人の爲め武運長久を祈願する事となりたる由當日は早朝より社殿を裝飾し威儀のものを整へ中祭式に準じて嚴肅なる祭典を行ふべしと

◎壹岐丸缺航

二十三日夜入港すべき壹岐丸は機關故障の爲め缺航すべしとの入電ありたり(釜山特電)

◎深山で阿片を密造

咸北鏡城郡朱北面反坪洞商業乘律(二〇)同金洛奎(二〇)農徐尹化(二〇)外數名は安邊郡新茅面板橋里鄕陽郡界深山中にて罌粟を栽培し阿片の秘密製造を爲しつゝある事發覺し[illegible]隊の手に逮捕されたるが現場には數個の洗面器に阿片液の充滿され居るを發見せりと

從軍行(一)

廿一日門司にて 金谷 眞

△いよ〳〵正午門司を立つ、海峽の空はドンヨリ曇つて雨がショボ〳〵御用船に降りそゝぐ、泣いて戻りやるなわしや獨り者……』とは何ごとかよろしきやうに……。

△門司は比較的戰爭氣分が醸つてゐる、先日まではランチが幾十となく御用船のあとを追うて六連邊まで見送つたさうな、今日も友人等が行を壯にしてやるぞといふ

△思へば奉天から京城、門司と、よくもあれだけ片付いたもんだ……と自分ながら聊か敬服する、この分なれば將來度々火事にあつても大丈夫だぞと自惚て見る

△陸軍運輸部で圖らずも滿日の矢橋君に會ふ『什麼氣分だ?』と訊くから『愉快だ』と答へる、唯だ然し奉天の雨の夜を母に別れる時だけは變な氣がしたよといふと『さうだらう僕も青島戰の時の經驗がある』としんみり語つた

△門司海岸の八幡様に參詣して武運長久を祈つた、石門には『稜威赫々照十表』とある闔を引いて見ると方位北の方吉とある

△『乘船します』と氣付の人が來たこれで自分も筆を擱く

□救濟會寄附

金十圓	金雨均
金百圓	朴弘鎰
金十圓	孟宗洙
金百圓	尹致昊
金五十圓	前田英治
金五十圓	前田統造
金百圓	高居瀧三郎
金五百圓	天日常次郎
金一萬圓	朝鮮銀行
金百圓	崔松雪堂
金五十圓	京城券番組合一同
金五十圓	京城券番藝妓一同

▲本社經由(以下七口)

金百圓	裵東爀
金二百圓	白潤洙
金二十圓	金龍其
金十圓	朴逸根
金百圓	李鍾禎
金三十圓	護國寺內 日宗婦人會
金百圓	中山秀一

小計金一萬一千六百八十圓也
累計金六萬二千五百六十圓也

讀者文藝

(一等には五十錢の請求劵を呈す)

下句づけ『如何しても』

◎如何しても斯うしても喰ふ高い米(一等) 發二浦新市街六二 杉野章
▲日本魂は是非出したかつた 京城 邦水
▲添はれぬ戀さ心中沙汰 仁川 浪子
▲出來にや斯うよとストライキ 仁川 青い島

◇各地の白米

‖二十三日小賣値段(相場)‖

▲釜山 一等白米四十二錢
▲長春 一等米四十二錢

一、切石 [illegible] 朝鮮總督府 [illegible] 八月二十日以後

購買入札訂正
昨二十三日本紙上掲載ノ朝鮮總督府購買入札廣告中[illegible]訂正ス
大正七年八月二十四日 朝鮮總督府

最新刊

◎獨逸を中心に

◎朝鮮大地圖

京城本町 大阪屋號

京日案內

◎金融[illegible]
◎[illegible]

六十新債劵發賣

所主 坂元分拆所

京城 店員至急入用

女子募集

酒見醸造場

總督府印刷所

金地金、高價買入

村木時計店

魔法瓶取替

高木旅行用具店

中古ミシン買入

楠商店

一代觀相

店員入用 京城本町 平田商店

外務員招聘 日淸生命

△新式魔法瓶 △圓筒形 △水筒形

京城日報代理部 電話六〇〇 振替京城三〇〇九番

堅實なる青年を求む 京城南大門外 誠鶴 見釀造場 京城支店

京城古市町 畑硝子工場 特製人蔘エキス瓶…に限る 其他一般の御注文に可應候

牛乳 石鹼 ニウソ 洗粉 東亞牧場

朝鮮總督府編纂『最新刊』 東部 西伯利地圖 發賣元 京城日報社代理部

◎眼科專門 荻原醫院 京城府明治町二丁目五十六番地

京城 資本金壹百萬圓 株式會社 漢湖農工銀行

產科 婦人科 二宮醫院

北島藥店

醫化學器械 藥種賣藥卸商

藥新淋治 ブレノリン 東京室町 三共株式會社

コールタール 島田忠作商店

外の眼藥で効なき人は試みよ スグに効力ある目藥……は
直治水
本舖 丹平商會

▽……家庭のよみもの……△

石鹸の話

★★遣唐使の土産★★
＝石鹸はどうして造る＝
全國の製造額千六百四十萬圓也

石鹸がわが國に渡來したのは明治の初年頃であるが其の後需用が激増したので舶來ばかりでは供給が不足し其の結果わが國でも製造するやうになり現在では海外まで輸出する有様である石鹸は何れの家庭でも缺くべからざる日用品の一となつて居る又工業用方面にても多く使用される其の種類も亦頗る多い石鹸とは脂肪又は油にアルカリを化合して

◇製造　するもので性質の方面から分類すれば或る脂肪と曹達とを以て製造した石鹸を曹達石鹸と云ふ又脂肪に加里を作用せしめて製造した石鹸を加里石鹸と云ふ松脂などの樹脂を混じたものを色から分類して黄石鹸と云ふ乾燥粉末にしたものを粉末石鹸と云ひ砂を混じたものをサンドソープと稱す此等が重なるものである

◇用途　から分類すれば家庭用として化粧洗濯及び食器を研磨する等工業方面には金屬其他の仕上用及び絹練用などで藥用には洗滌洗腸と軟膏や乳劑として使用される其他用途が頗る廣い石鹸の消費高の消長は文明のバロメーターと云ふも過言では有るまい石鹸の發明は決して最近のものでは無い隨分古いもので有史以前のものであるゴール人種が山羊の脂肪と山毛欅の木の灰で一種の石鹸を製造して常に化粧料に毛髪用として使用し其の製造方法を羅馬に傳へ又中央阿弗利加の土人ファンティ人はパーム油とバナナの灰で浴用石鹸を製造したと西洋の

◇歴史　には記して有るが之れは何れも紀元前の事で信用すべき證據が無いが兎に角石鹸は古くからあつた事を想像するに足る十三世紀の頃佛國マルセイユ市ではオリーブ油を主要として石鹸を製造し大に好評を博した次いで十七世紀の頃サヴオナで最も盛んに製造し大に聲價を高めたので遂に石鹸はサヴオナの地よりサヴオンなる名を得た位で有る其の後曹達を以て石鹸を製造する方法即ちルブラン式製造法が發明されたので急速の進歩を遂げ

◇現在　では英米諸國を通じて數千萬圓の資本を以て製造する會社は澤山有る又彼の遣唐使が今の支那から持ち歸つたもので現に正倉院の御物中にあるのがそれだと傳へられて居る其後の事は一向記錄に殘つて居ないが文久年間横濱の某商館に見本として數塊の石鹸を輸入した事があるが單に邦人の好奇心を惹いたに過ぎなかつた實用されるやうになつたのは遙後である明治初年横須賀に鎭守府が設けられ當時軍艦用として海水石鹸を購入しようとしたが遂に與りのものすらなかつたさうだ明治二年に横濱では堤德右衞門と云ふ人は某國人から

◇製法　の傳習を受けて牛の脂肪と茄子の灰汁で石鹸の製造を試み翌三年には松崎榮一氏が東京に牛込舍を創立して製造業に從事したのを手初めとして堀江小十郎氏は濱松舍を設立した其の後故榎本武揚子が露國から機械を持ち歸り江水舍を組織した十年頃には十二三の工場が出來たが當時の製造方法は頗る幼稚であつた苛性曹達を輸入し脂肪も牛の外豚其の他の豚脂椰子油綿實油などの植物性油を使用して稍面目を一新し

◇内地　製造高も逐年増加した輸入の方も年一年増して來た十年には十二萬圓の輸入があり十四年には十四萬圓に上つたが年々需用増加の趨勢を來した最初は我國でも小活程度が低かつた爲に品質の優劣よりも價格の低廉を喜むだので製造家も工程を省くとか澱粉を混合するなど粗製濫造を極め甚だしいものになると八割以上の混合物が有つたので本邦製造の信用を落した政府當局は之が善後策として混合物含有石鹸の輸出を禁じたのと一方製造家も自覺して粗製時代から學理應用と需用家の衞生思想の普及に促されて研究時代に移り現今では

◇舶來　品を凌駕するやうになつて石鹸の市場に現はれるやうになつた就中絹練石鹸の原料の蠟油は我國の重要産物とも云ふべきもので大に將來有望であるのは國家の爲慶賀に堪へざる所である尚ほ製造地は東京大阪神戸横濱等で大正五年には東京の六百十二萬九千圓を初めとして全國では千六百四十一萬圓で同年度の輸出額は化粧用五百四萬四百九打で此金額三百七十四萬七千百廿八圓洗濯用四十三萬五千八百七十三斤金額七萬九千二百一圓で輸出先は支那方面を第一とし香港印度暹羅布哇比律賓濠洲瓜哇南米阿弗利加等が主である

妻の心＝本日休載＝

★斷水の前　＝二十四日午前十時市内所見＝

◎熱狂の絹業界

最近輸出絹織物は歐米、濠洲、加奈陀、南洋其の他各方面の需要旺盛にして[illegible]は福井品二尺四寸巾七匁附は十八圓二十錢、六匁半附は十八圓十五錢、金巾品の尺八寸巾四匁四分一[illegible]月末相場と對比せば僅に一圓乃至二圓方の激騰を演じ就中二尺四寸物は三圓内外の暴騰を示せり是[illegible]著なるものあり最近に於ける新規註文は産地値段の暴騰に依り註文指値と多大の逕庭を生ぜる結果[illegible]さる可らざるに至り内外輸出商の買を敢行せると共に夏季機業家に[illegible]絹紬、不二絹其の他各種絹織物の好調に乘じ機業家の此の種織物製織や各種強撚絹材料川俣物等の買[illegible]を謀せると等を擧ぐ可し而して今[illegible]更に適品を物色して買狙ひつゝあるの事實あれば縦し相場を以て[illegible]機業家は安値原料の仕入に從つて意想外なる利益を獲得し平均一定[illegible]

避暑から歸つてのお化粧
◇糸瓜か胡瓜◇

夏休みも愈々殘り少になりましたので海や温泉などへ行つてゐた人はポツ／＼歸京しかけてゐますが潮風や湯の花に晒された婦人方の

◎お顔は　だいぶ黑く、皮膚がザラ／＼して白粉をつけてもよくのらず直に剝げたり斑になつたりして氣を揉んでゐる方が多うございます、皮膚の荒れや色の黑いのは一日や二日で急に治るものではなく氣長に徐々に治さねばなりませんが、先づ應急の手當として極簡單な方法を申ませうならば

◎素人方　は色の黑くなつたのや荒れたのはよく洗へば剝げると云ふ考へで無暗に石鹸や糠袋を使つてゴシ／＼と顔の生地を力任せに洗ひますがあれは皮膚の生地を却て荒すばかりで何の効もありません、なるべくならば汗が出てもお湯で絞つたハンケチか手拭で拭き、決して

◎冷い水　で直接顔を洗はぬやう、もし洗ふなら温湯で靜かに植物性の洗粉をつけて洗ふが宜しい。よく洗ひ終へたら糸瓜か胡瓜の水を掌に滴しそれを指先で徐々に皮膚へ塗込むのですそれも額際から頰へかけてでなくて頰から額際へかけて

◎逆さに　逆さにこ擦り込んで行くやうにしませんと皮膚によく沁み渡りません。それが濟んだら今度はコールドクリームか、或はマッサージクリームを薄目に矢張り指先で顔面へ擦り込み其上をタオルで輕く叩いて置きます。白粉をつけますなら此上へ粉白粉か水白粉をうつすりと刷いて置くのですが、成るべくならば皮膚の荒れの治る間は白粉をつけずにおく方が宜しい

日報歌壇

○秋風吟　那古井澄子

月のよき今宵なるかも秋風に水の香して樹はそよくなり

秋風にわが手の足のつめたくてひそかに人な思はするかも

秋風の若草町の大通り陽にひかりてはあまた飛ぶとんぼ

秋の陽をまさもにうけて靜もれる街のなつめか思ひ出もなし

さびしくもこの病む心痛むこゝろ離にかの人にいひて泣らむこの心ためらへ

つれなき人か背けむ秋風たてば

○　絢子

朝なさなわが手の樹にからまりてつる朝顔けふもしぼとなる

雁來紅やうやう／＼にして色づけれど君がいたつき尚癒へまさず

○　銀川　梅田彩外

サンプルの白き洋酒の透明にひそかに秋の動く朝かな

ふさもしくペンの冷たさはりさへ人な悲しませ秋となりけり

○蜉蝣　あづさ

ぢつとして白き円にひたれば蜉蝣のやがてなくなり聽きし下駄の聲に

ぬばたまの夜は更けかし洋館の灯見ゆ蜉蝣のなくすに

灰色の雲の湧き出づたそがれに眞紅のダリヤの揺れのさびしも

あくまでも空は碧かりみつめればいつまでも若し秋の幹空

▲初秋の歌を募る

□訂正　二十三日朝刊『戰』欄植

此處に來ると此秋の中で姉が泣いてゐた―直三―

さかしくリノリヤムの長廊下の諧くる白萩―浮雲樓―

讀者の領分

▲私は或る專門學校の生徒ですが何處かに御適當なる家庭の一間をさして置いて下さる所はないでせうか尤も相當な宿料は御拂ひ致しますそうして御子さん方の復習位は御手傳ひ致します御心當りの方は本欄まで御知らせ下さい都合上大和町旭町附近一帶を希望致して居ります（下宿生）▲昨夜十時迄で笛を吹いてゐる某小學校附近の人よ小供が泣き出して困りますから早く止めやめ給へ殊に品位のない同じ節ばかりヒイ／＼いはせては君の品位にも係はるから注意し給へ（安眠生）▲四王[illegible]に[illegible]（仿真子久秋林圖）[illegible]甲辰秋日仿子久[illegible]の山水畫を所持して居ります[illegible]京城附近に可然鑑定家が居れるなら本欄にて御教示を願ひます（京城紺谷田生）▲過勤の債券の[illegible]（名は今度丈け秘密にす）[illegible]の效能など[illegible]かと云ひたれど其の必要を認めざれば擲りしに次には自分の留守中家内の者に再び強制的に金は送行へてあれば是非入れさせまりたし家内の者も困りたるに遂には集金郵便にて取立に來りたり是を見ても其の會社の内幕は知れたり京城の人士よ斯かる債券には注意し給へ（某居士）▲眼鏡なんか掛けて或る生意氣なお前さんは僞ばかりの買物に行くさい樣子だから少し罪滅を加へて下さい挨拶は應が喰つてかゝる樣な態度で應接をする顏ぶれには此頃の商人が少く無い（南大門より）▲某町に二三年前に主人に別れた未亡人が住んで居る然るに此頃日本で聞ゐたる某組の紳士が少し有るからそればかりして居るハイカラとよい仲に成つて居るが其の男には妻君があるとの事ですがつみな事ですね終に金取主義でせう（南山鶴）

徽毒淋病で當惑する人に

帝國醫科大學特命製劑者たりし赤井先生の考案に成る藥化學應用療法は効力卓絕にして在來行はるゝ自宅療法と趣を異にし專ら使用の安全、簡易、經濟を主とせる最善療法なり

＝無代進呈＝
ハガキに必ず病名を記し御申込あれ、彩色圖入の詳細解説書を直ちに秘密送呈す
東京市本所區向島小梅町貳貳參
東京藥化學研究所

テンカン
ヒキツケル病が自宅で秘密に治る事を三錢切手封入申込あれ無代で救め
名古屋市中區南小川町　救生館

百円進呈
りん病
ばい毒（藥合論）
▲原料十二種代金引換[illegible]
帝國醫科大學病院[illegible]
分折料百圓
▲あらゆる治療にも再三の[illegible]に逢へる者諸君、[illegible]
にせ物
有田鑑製
發賣元　東京日本橋通　大阪
京城南大門外停車場通
ドラッグ商會本部
長電話二五六七◎振替京城四六七
支店　京城黄金町三丁目電車通◎元山本町　龍山練兵場前停留場◎平壤錦町二三　釜山大廳町二丁目◎仁川宮町二丁目

質　大塚質店
京城南治町二元曙町
電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全金庫に御預け
多額の融通

課題募集規定